

瑞浪市
第 4 次障害者計画・第 5 期障害福祉計画
策定に係るアンケート調査
調査結果報告書
(抜粋版)

平成 29 年 6 月

瑞 浪 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	設問数.....	1
6	回収状況.....	1
7	調査結果の表示方法.....	1
II	調査結果	2
1	一般調査.....	2
	(1) 回答者属性.....	2
	(2) 障がいのある方との関わりについて.....	3
	(3) 障がいのある方に対する理解について.....	4
	(4) 障がいのある方への地域での支え合い・助け合いについて.....	8
	(5) 障がいのある方への施策について.....	10
2	障がいのある方への調査.....	11
	(2) 調査対象のご本人のことについて.....	11
	(3) 生活の様子について.....	15
	(4) 教育・学校について.....	24
	(5) 仕事・作業・訓練について.....	29
	(6) 福祉サービスについて.....	34
	(7) これからの共生の地域づくりについて.....	40
	(8) 防災対策について.....	47
	(9) 介護・介助をしている方.....	51

※抜粋版のため、見出し番号、設問番号等、抜け番号があります。

I 調査の概要

1 調査の目的

第4次障害者計画・第5期障害福祉計画策定の基礎資料とするため、「一般調査」および「障がいのある方への調査」を実施するものです。

2 調査対象

- 一 一般：瑞浪市在住の20歳以上の方から無作為抽出（1,000人）
- 障がいのある方：瑞浪市在住の障害者手帳所持者から無作為抽出（1,000人）
（身体700人、療育200人、精神100人）

3 調査期間

平成29年4月13日から平成29年5月1日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 設問数

- 一 一般：23問
- 障がいのある方：57問

6 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
一 一般	1,000通	485通	48.5%
障がいのある方	1,000通	572通	57.2%

7 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）

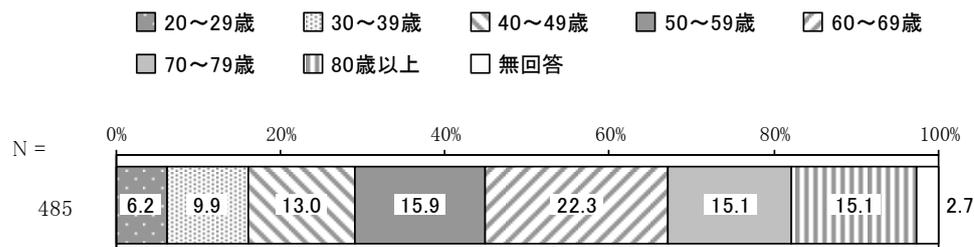
II 調査結果

1 一般調査

(1) 回答者属性

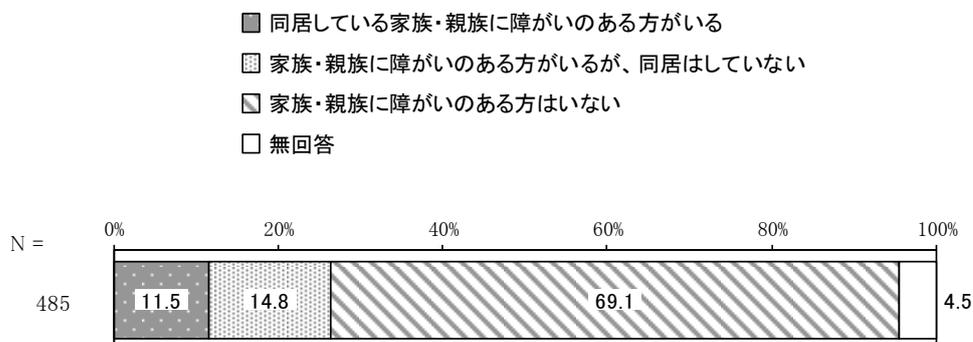
問2 平成29年4月1日現在のあなたの年齢をお答えください。(1つに○)

「60～69歳」の割合が22.3%と最も高く、次いで「50～59歳」の割合が15.9%、「70～79歳」、「80歳以上」の割合が15.1%となっています。



問3 あなたの家族・親族に障がいのある方はいますか。(1つに○)

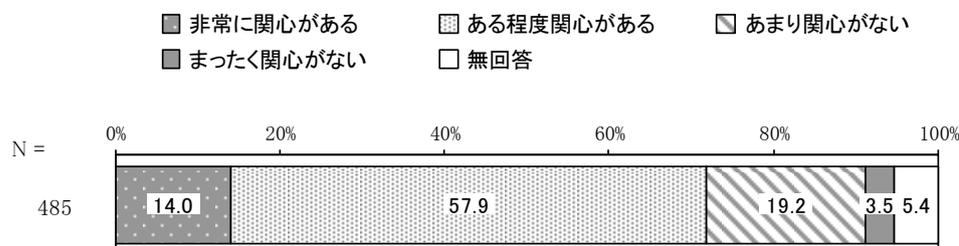
「家族・親族に障がいのある方はいない」の割合が69.1%と最も高く、次いで「家族・親族に障がいのある方がいるが、同居はしていない」の割合が14.8%、「同居している家族・親族に障がいのある方がいる」の割合が11.5%となっています。



(2) 障がいのある方との関わりについて

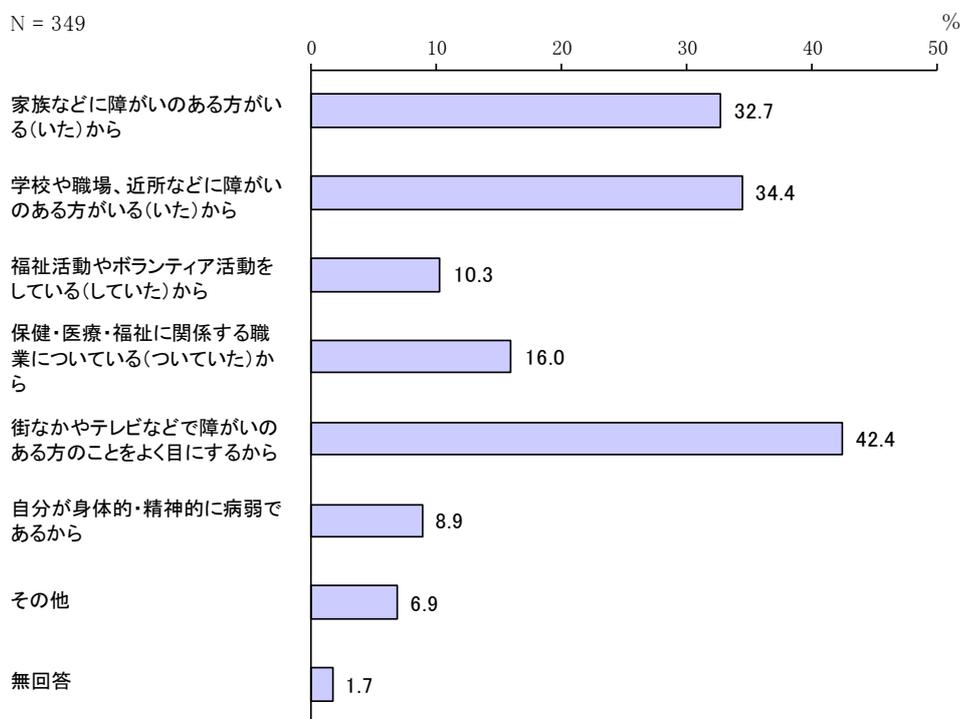
問4 あなたは障がい福祉について関心がありますか。(1つに○)

「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた“関心がある”の割合が71.9%、「あまり関心がない」と「まったく関心がない」を合わせた“関心がない”の割合が22.7%となっています。



問5 問4で「1. 非常に関心がある」「2. ある程度関心がある」と答えた方にお伺いします。どのような理由から、関心をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

「街なかやテレビなどで障がいのある方のことをよく目にするから」の割合が42.4%と最も高く、次いで「学校や職場、近所などに障がいのある方がいる(いた)から」の割合が34.4%、「家族などに障がいのある方がいる(いた)から」の割合が32.7%となっています。

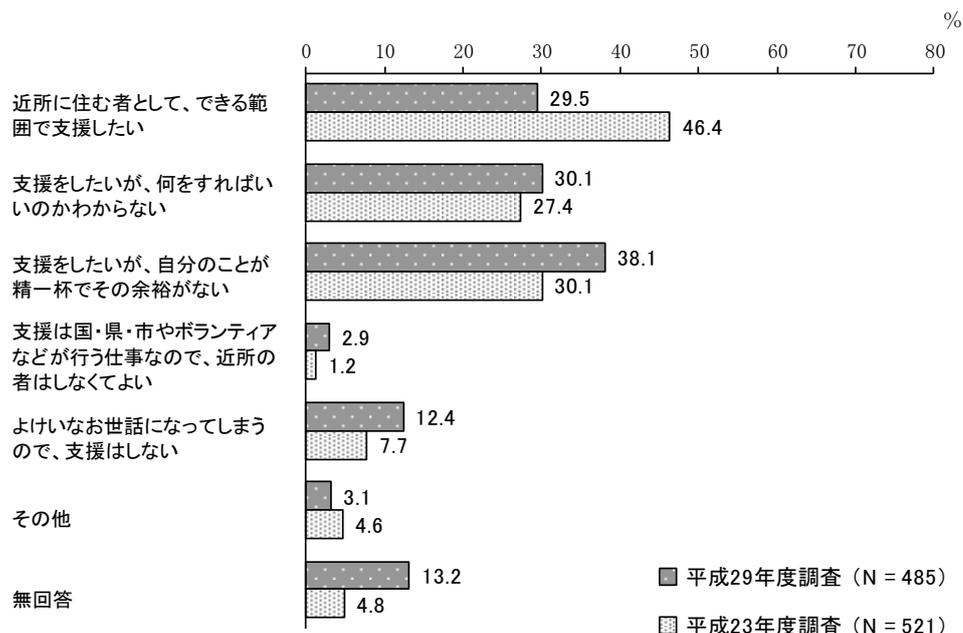


(3) 障がいのある方に対する理解について

問6 近所に住む障がいのある方やその家族に対する日常的な支援について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(〇はいくつでも)

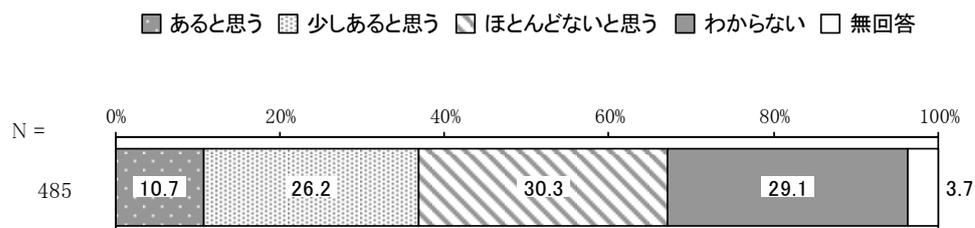
「支援をしたいが、自分のことが精一杯でその余裕がない」の割合が38.1%と最も高く、次いで「支援をしたいが、何をすればいいのかわからない」の割合が30.1%、「近所に住む者として、できる範囲で支援したい」の割合が29.5%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「支援をしたいが、自分のことが精一杯でその余裕がない」の割合が増加している一方、「近所に住む者として、できる範囲で支援したい」の割合が大幅に減少しています。



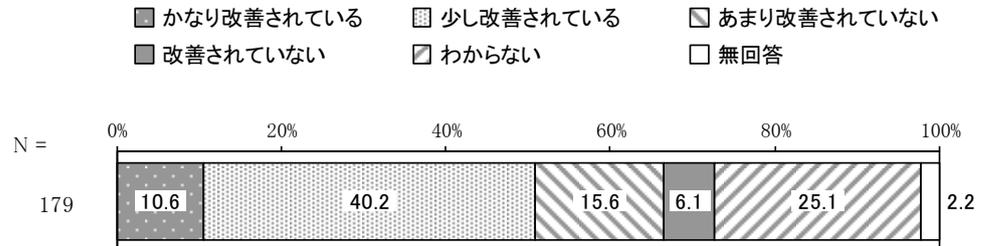
問7 あなたは、あなたが住む地域では障がいがある方に対して差別や偏見があると思いますか。(1つに〇)

「あると思う」と「少しあると思う」を合わせた“あると思う”の割合が36.9%、「ほとんどないと思う」の割合が30.3%となっています。



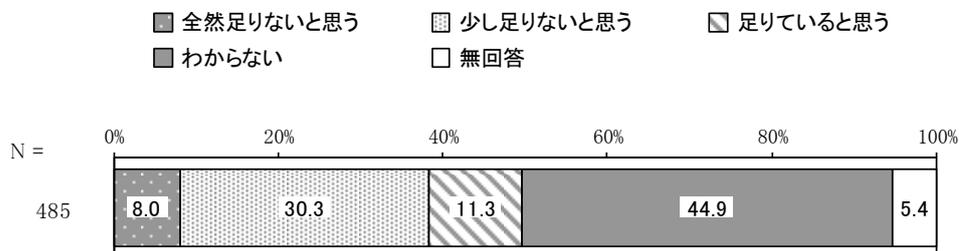
問8 問7で「1. あると思う」「2. 少しあると思う」と回答した方にお聞きします。
 以前と比べて、差別や偏見は、改善されていると思いますか。(1つに○)

「かなり改善されている」と「少し改善されている」を合わせた“改善されている”の割合が50.8%、「あまり改善されていない」と「改善されていない」を合わせた“改善されていない”の割合が21.7%となっています。



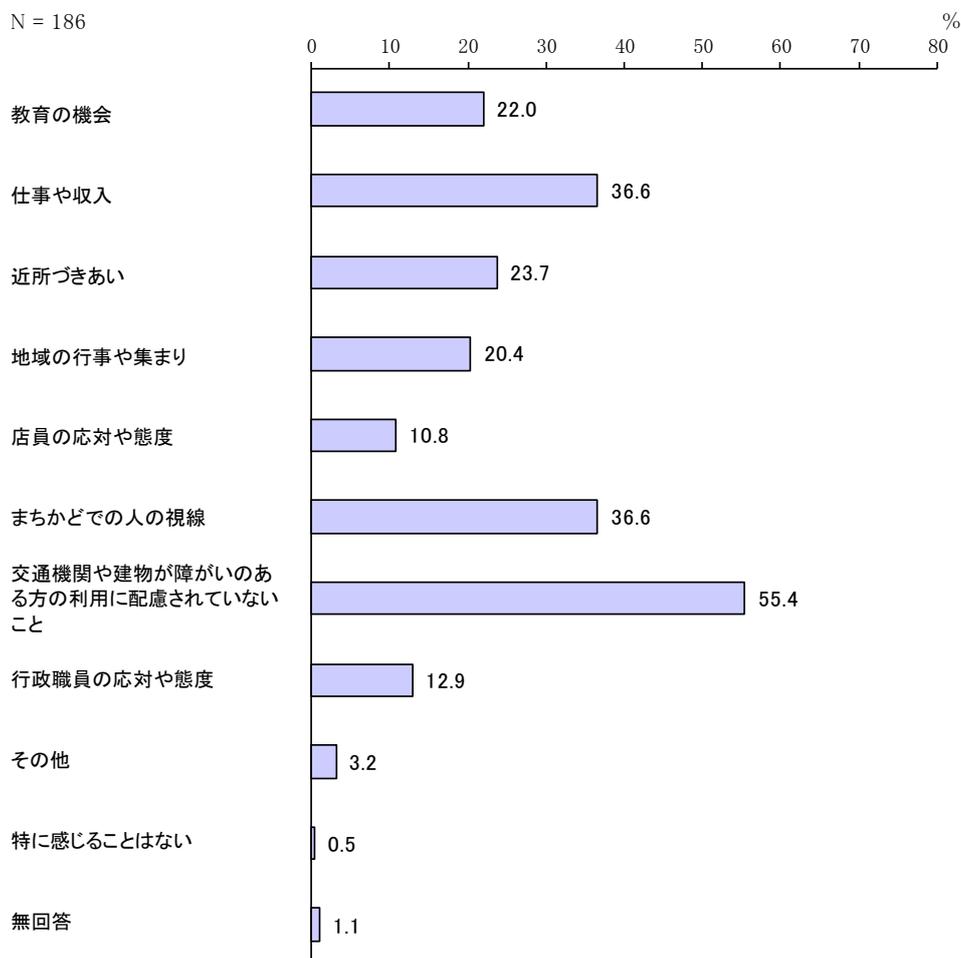
問9 あなたは、普段の生活の中で、あなたが住む地域では障がいのある方への配慮や理解が足りないと思いますか。(1つに○)

「全然足りないと思う」と「少し足りないと思う」を合わせた“足りないと思う”の割合が 38.3%、「足りていると思う」の割合が 11.3%となっています。



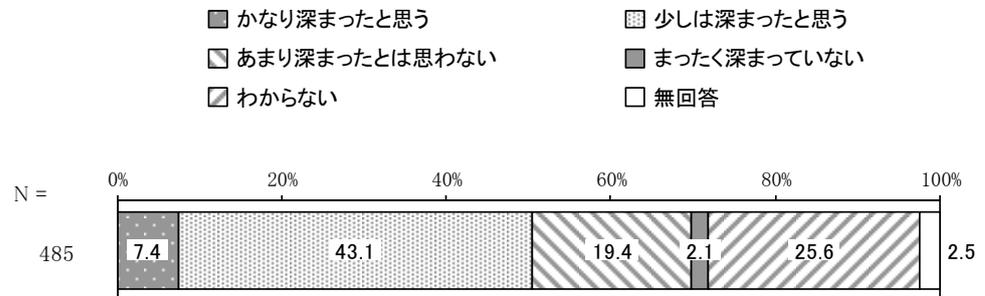
問10 問9で「1. 全然足りないと思う」「2. 少し足りないと思う」と回答した方にお聞きします。それはどのような場合ですか。(あてはまるものすべてに○)

「交通機関や建物が障がいのある方の利用に配慮されていないこと」の割合が 55.4%と最も高く、次いで「仕事や収入」、「まちかどでの人の視線」の割合が 36.6%となっています。



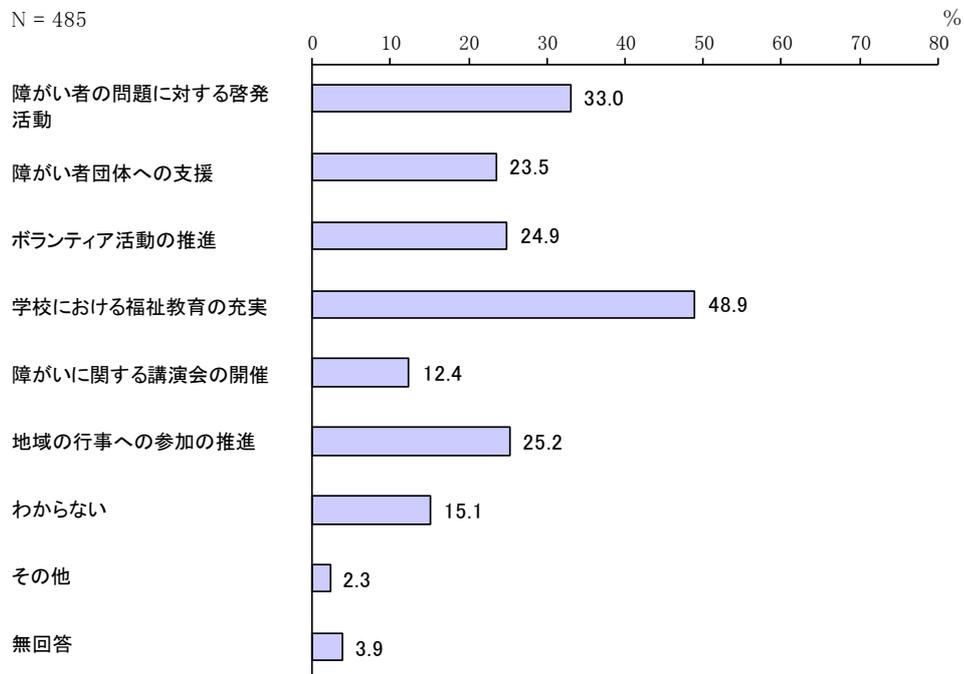
問 12 社会全体で障がいのある方への理解が以前より深まったと感じますか。(1つに○)

「かなり深まったと思う」と「少しは深まったと思う」を合わせた「深まったと思う」の割合が 50.5%^[訂正]と最も高く、次いで「わからない」の割合が 25.6%、「あまり深まったとは思わない」の割合が 19.4%となっています。



問 13 社会が障がいのある方への理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

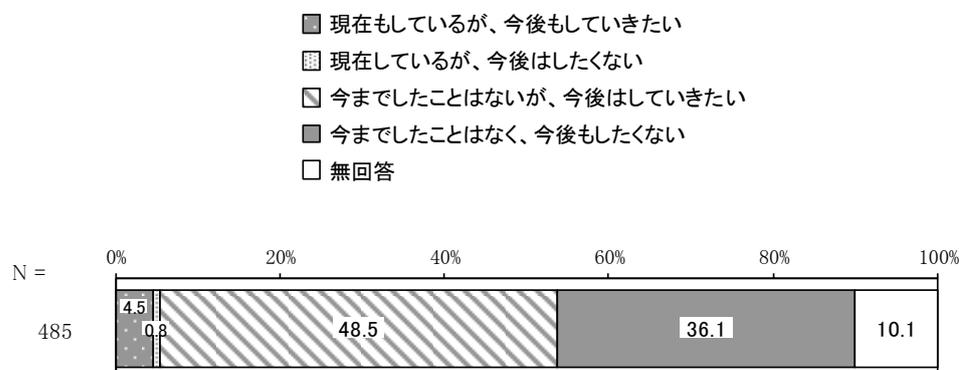
「学校における福祉教育の充実」の割合が 48.9%と最も高く、次いで「障がい者の問題に対する啓発活動」の割合が 33.0%、「地域の行事への参加の推進」の割合が 25.2%となっています。



(4) 障がいのある方への地域での支え合い・助け合いについて

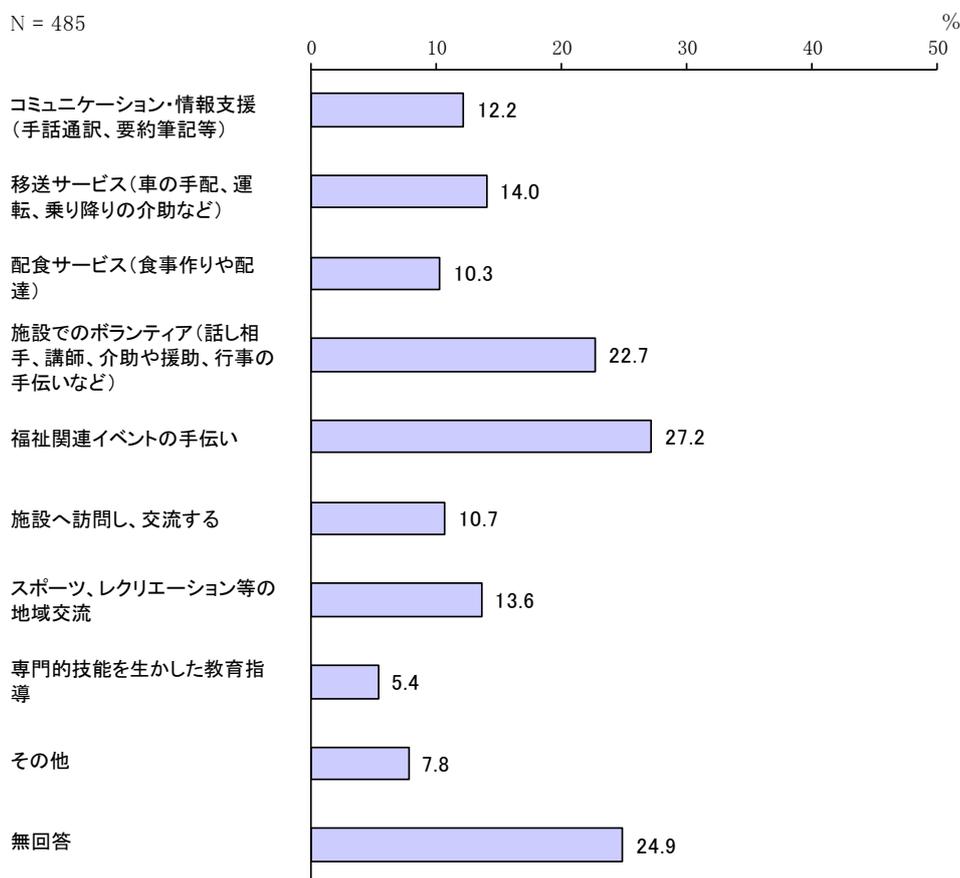
問16 あなたは、障がいのある方へのボランティア活動をしていますか。また、してみたいと思っていますか。具体的な活動内容もお書きください。(1つに○)

「今までしたことはないが、今後はしていきたい」の割合が48.5%と最も高く、次いで「今までしたことはなく、今後もしたくない」の割合が36.1%となっています。



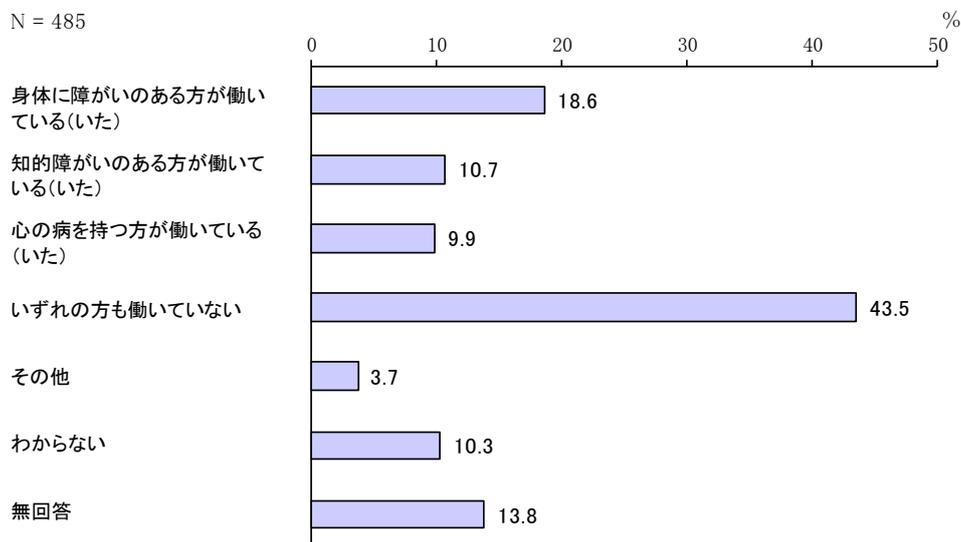
問17 あなたは、今後障がいのある方に対してどんな支援や活動をしてみたいですか。(あてはまるものすべてに○)

「福祉関連イベントの手伝い」の割合が27.2%と最も高く、次いで「施設でのボランティア(話し相手、講師、介助や援助、行事の手伝いなど)」の割合が22.7%、「移送サービス(車の手配、運転、乗り降りの介助など)」の割合が14.0%となっています。



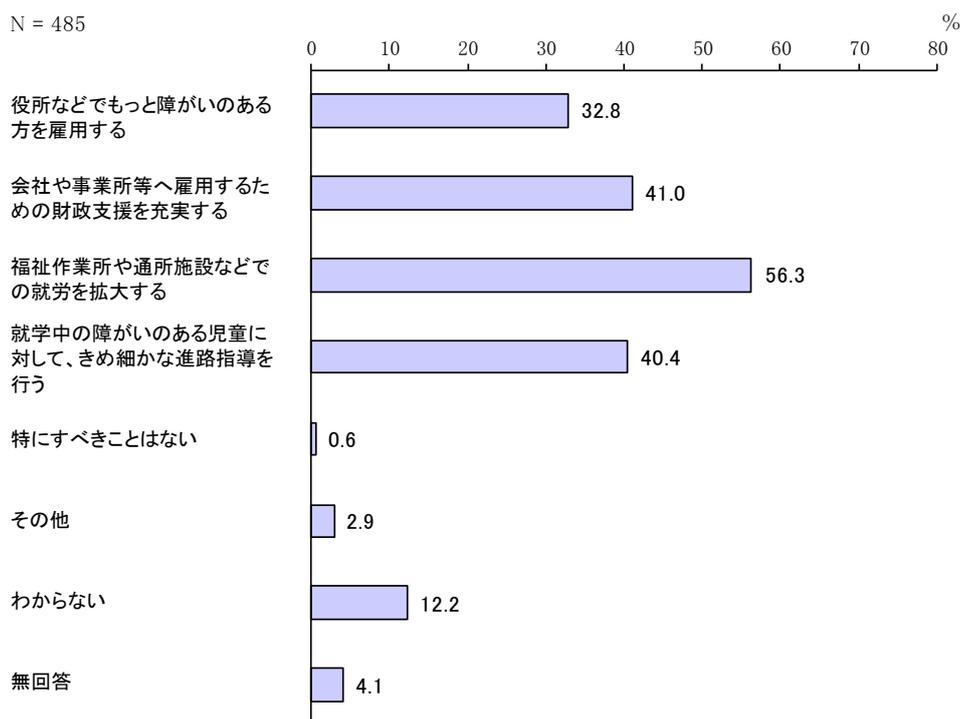
問 19 あなたの現在の仕事場では、障がいのある方が働いていますか。(いましたか。)(あてはまるものすべてに○)

「いずれの方も働いていない」の割合が43.5%と最も高く、次いで「身体に障がいのある方が働いている(いた)」の割合が18.6%、「知的障がいのある方が働いている(いた)」の割合が10.7%、「心的病を持つ方が働いている(いた)」の割合が9.9%となっています。



問 20 瑞浪市で障がいのある方がもっと働けるようにするためには、どうすればよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「福祉作業所や通所施設などでの就労を拡大する」の割合が56.3%と最も高く、次いで「会社や事業所等へ雇用するための財政支援を充実する」の割合が41.0%、「就学中の障がいのある児童に対して、きめ細かな進路指導を行う」の割合が40.4%となっています。

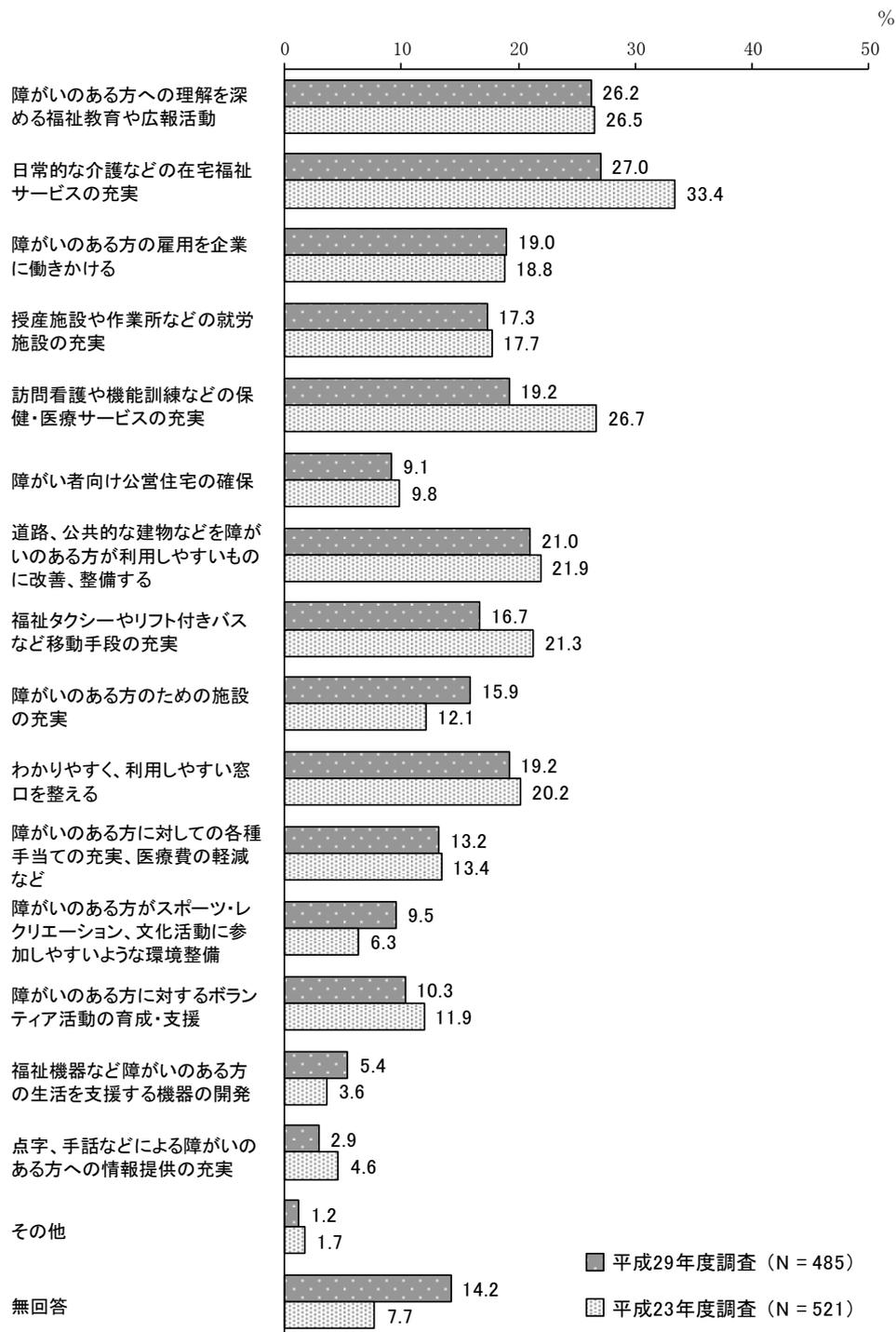


(5) 障がいのある方への施策について

問 21 障がいのある方にとって住みやすいまちをつくるためには、どのような活動が重要だと思いますか。あてはまるものをお答えください。(3つまで選んで○)

「日常的な介護などの在宅福祉サービスの充実」の割合が27.0%と最も高く、次いで「障がいのある方への理解を深める福祉教育や広報活動」の割合が26.2%、「道路、公共的な建物などを障がいのある方が利用しやすいものに改善、整備する」の割合が21.0%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「日常的な介護などの在宅福祉サービスの充実」「訪問看護や機能訓練などの保健・医療サービスの充実」の割合が減少しています。

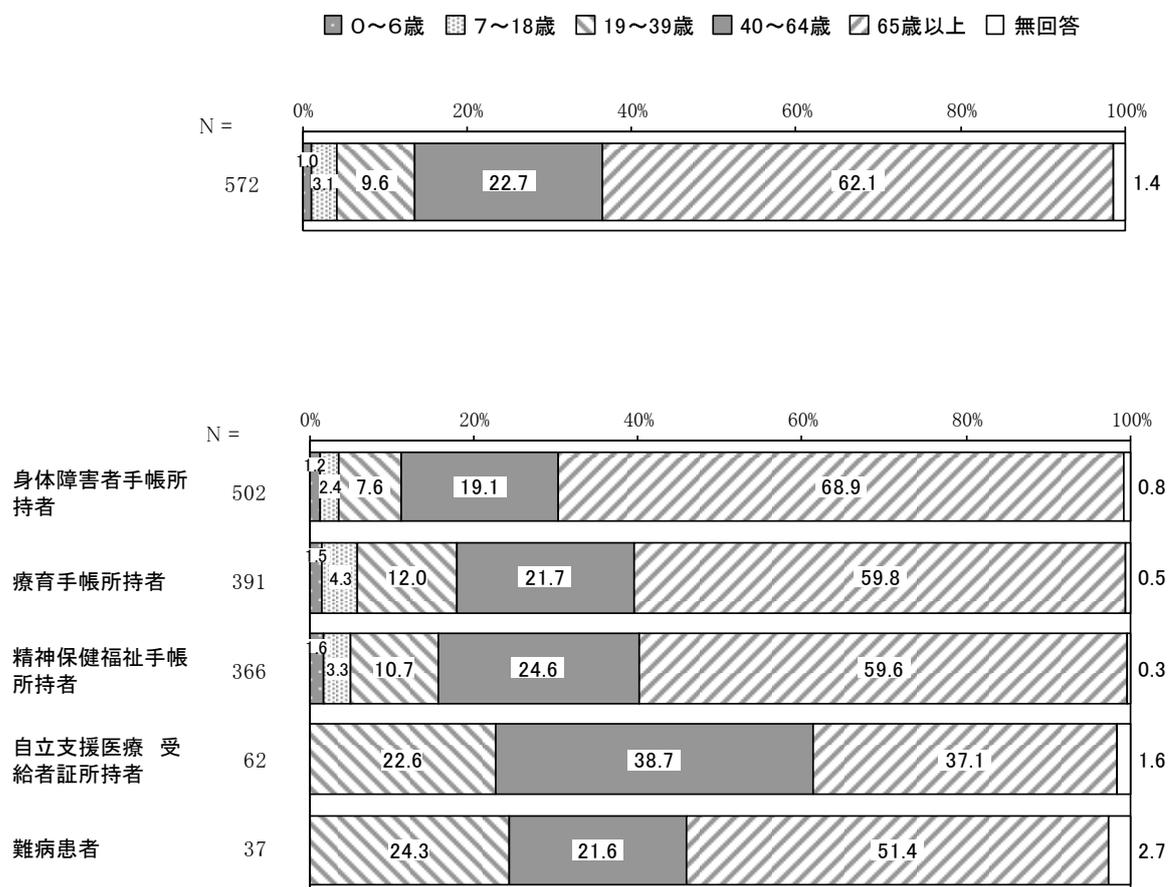


2 障がいのある方への調査

(2) 調査対象のご本人のことについて

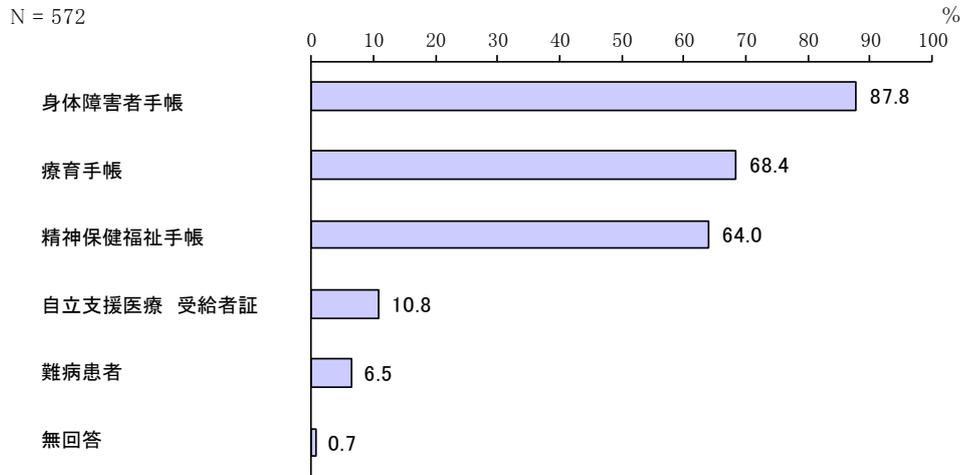
問3 平成29年4月1日現在のあなたの年齢をお答えください。(1つに○)

「65歳以上」の割合が62.1%と最も高く、次いで「40～64歳」の割合が22.7%となっています。



問4 あなたは、障害者手帳等をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

「身体障害者手帳」の割合が87.8%と最も高く、次いで「療育手帳」の割合が68.4%、「精神保健福祉手帳」の割合が64.0%となっています。



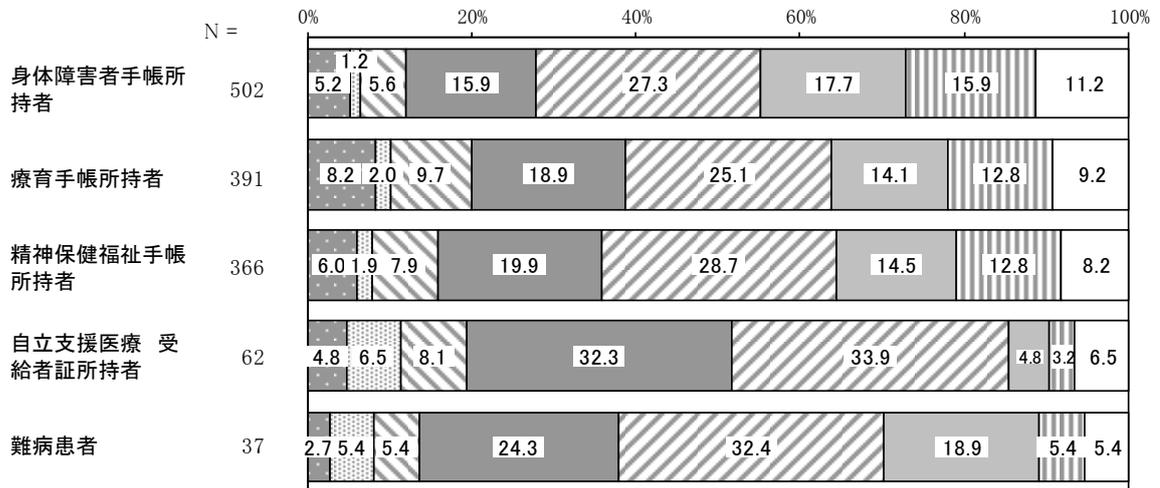
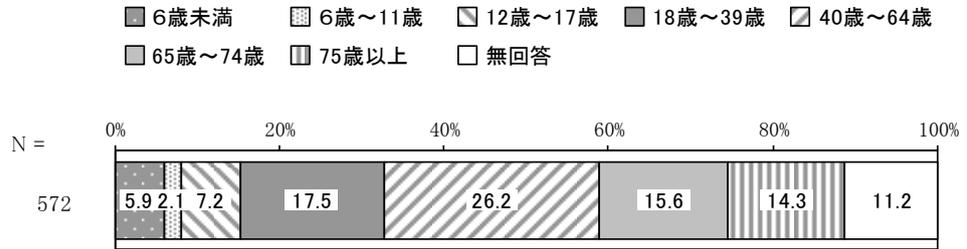
単位：%

区分	有効回答数(件)	身体障害者手帳	療育手帳	精神保健福祉手帳	自立支援医療 受給者証	難病患者	無回答
身体障害者手帳所持者	502	100.0	70.1	66.1	8.2	7.0	—
療育手帳所持者	391	90.0	—	—	—	6.4	—
精神保健福祉手帳所持者	366	90.7	—	—	5	7.1	—
自立支援医療 受給者証所持者	62	66.1	—	—	0	9.7	—
難病患者	37	94.6	67.6	70.3	16.2	100.0	—

[訂正]
集計に不具合があったため
次回以降に訂正報告する

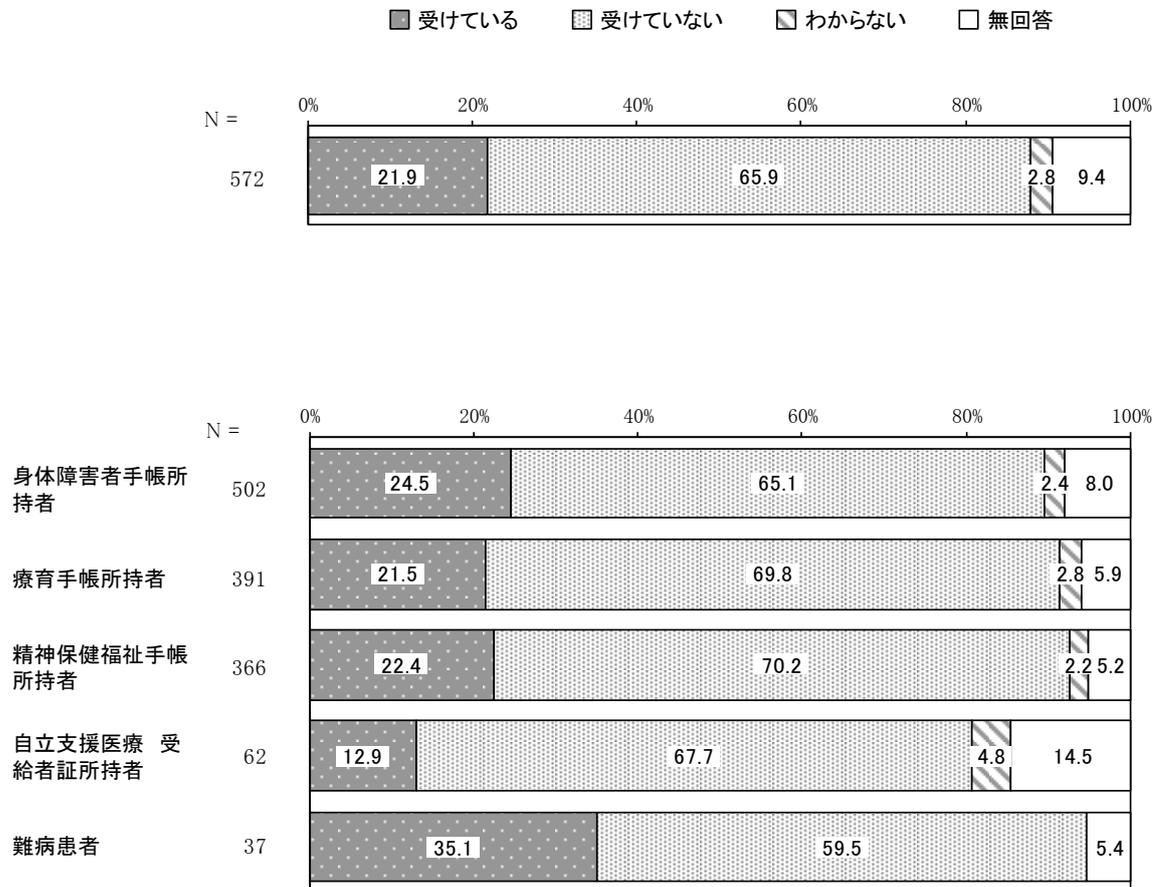
問5 あなたが、手帳を取得されたのは何歳の時ですか。複数の手帳をお持ちの方は、最初の手帳を受けた年齢をお答えください。

「40歳～64歳」の割合が26.2%と最も高く、次いで「18歳～39歳」の割合が17.5%、「65歳～74歳」の割合が15.6%となっています。



問7 あなたは、介護保険の要介護認定を受けていますか。(1つだけ○)

「受けていない」の割合が65.9%と最も高く、次いで「受けている」の割合が21.9%となっています。

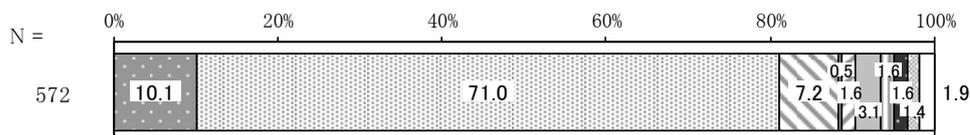


(3) 生活の様子について

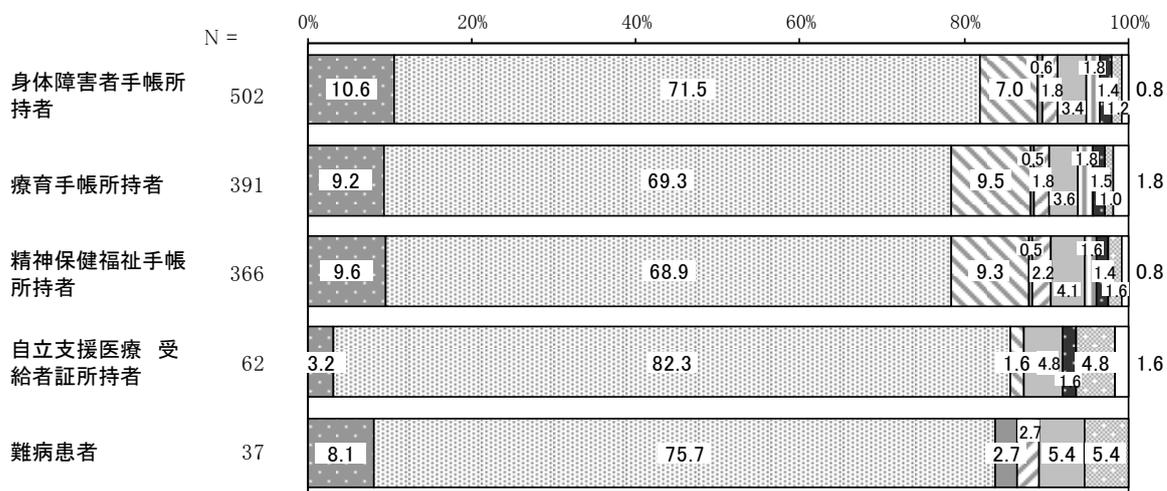
問8 あなたが現在、暮らしているお住まいはどこですか。(1つに○)

「自宅(アパート・借家等も含む)で家族等と一緒に住んでいる」の割合が71.0%と最も高く、次いで「自宅(アパート・借家等も含む)で一人暮らし」の割合が10.1%となっています。

- 自宅(アパート・借家等も含む)で一人暮らし
- ▨ 自宅(アパート・借家等も含む)で家族等と一緒に住んでいる
- ▩ 障がい者の入所施設
- グループホーム
- ▨ 特別養護老人ホーム
- 老人保健施設など
- ▩ その他の入所施設
- 病院
- ▩ 学校や職場の寮
- ▨ その他
- 無回答

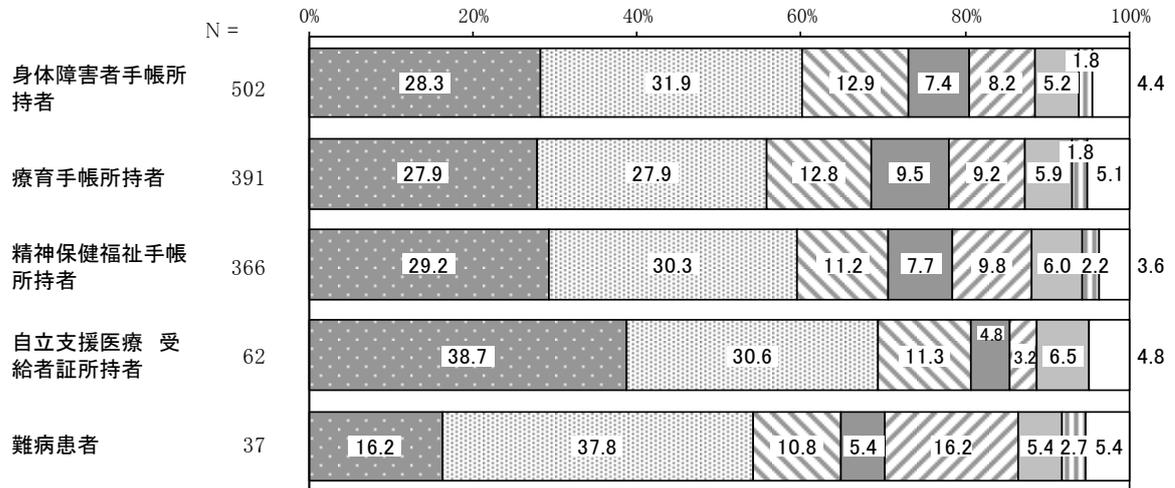
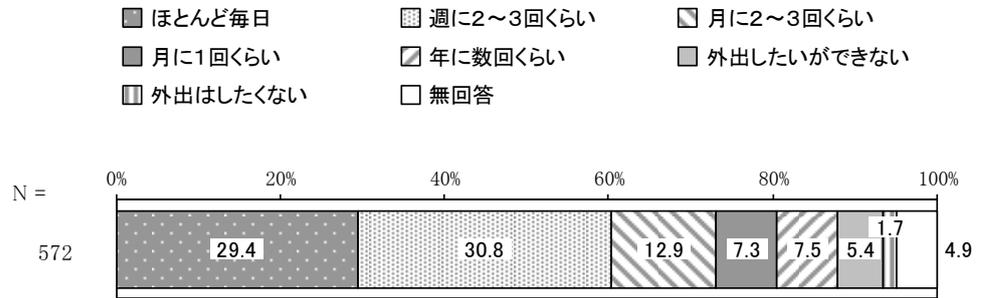


- 自宅(アパート・借家等も含む)で一人暮らし
- ▨ 自宅(アパート・借家等も含む)で家族等と一緒に住んでいる
- ▩ 障がい者の入所施設
- グループホーム
- ▨ 特別養護老人ホーム
- 老人保健施設など
- ▩ その他の入所施設
- 病院
- ▩ 学校や職場の寮
- ▨ その他
- 無回答



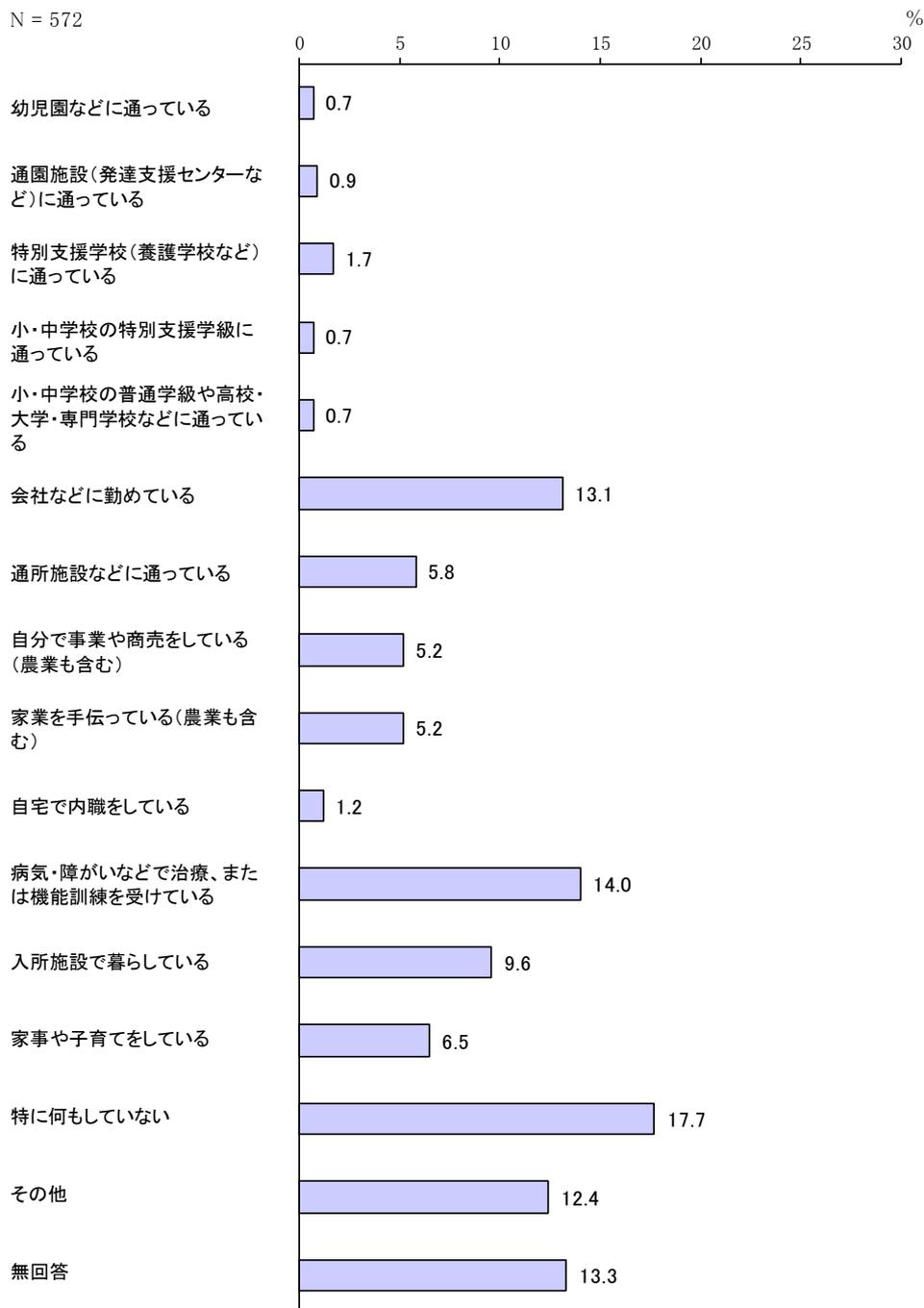
問11 あなたは普段、どのくらい外出をしていますか。(1つに○)

「週に2～3回くらい」の割合が30.8%と最も高く、次いで「ほとんど毎日」の割合が29.4%、「月に2～3回くらい」の割合が12.9%となっています。



問13 あなたは普段、昼間はどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

「特に何もしていない」の割合が17.7%と最も高く、次いで「病気・障がいなどで治療、または機能訓練を受けている」の割合が14.0%、「会社などに勤めている」の割合が13.1%となっています。

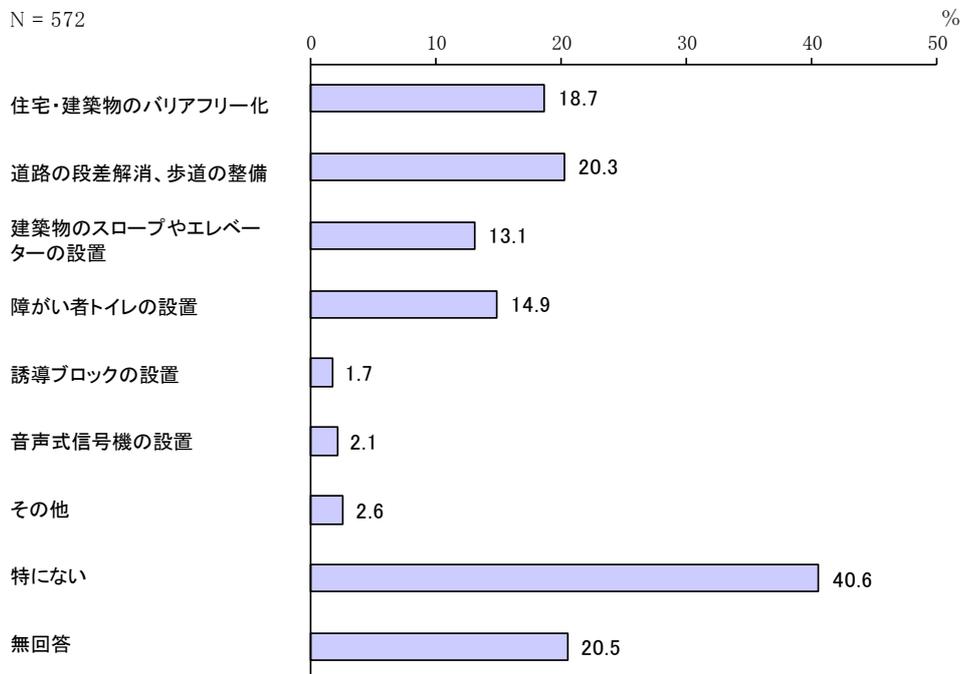


単位：%

区分	有効回答数(件)	幼児園などに通っている	通園施設(発達支援センターなど)に通っている	特別支援学校(養護学校など)に通っている	小・中学校の特別支援学級に通っている	小・中学校の普通学級や高校・大学・専門学校などに通っている	会社などに勤めている	通所施設などに通っている	業も含む)	自分で事業や商売をしている(農業も含む)	家業を手伝っている(農業も含む)	自宅で内職をしている	機能訓練を受けている	病気・障がいなどで治療、または	入所施設で暮らしている	家事や子育てをしている	特に何もしていない	その他	無回答
身体障害者手帳所持者	502	0.8	0.8	1.2	0.6	0.8	12.2	3.8	6.0	5.2	1.2	13.9	9.8	6.4	18.7	13.1	13.5		
療育手帳所持者	391	1.0	1.3	2.6	1.0	1.0	14.3	5.9	4.3	4.3	0.8	11.8	11.3	5.6	17.9	10.2	13.8		
精神保健福祉手帳所持者	366	1.1	1.1	1.6	0.5	1.1	15.8	5.2	4.4	4.4	0.8	13.9	11.7	6.3	17.8	10.9	12.0		
自立支援医療受給者証所持者	62	—	—	—	—	—	29.0	16.1	4.8	6.5	—	16.1	6.5	8.1	8.1	9.7	3.2		
難病患者	37	—	—	—	—	—	18.9	13.5	8.1	—	—	32.4	10.8	5.4	13.5	8.1	8.1		

問 16 あなたの身の回りで、整備または援助を必要とするものは何ですか。(3つまで選んで○)

「特にない」の割合が40.6%と最も高く、次いで「道路の段差解消、歩道の整備」の割合が20.3%、「住宅・建築物のバリアフリー化」の割合が18.7%となっています。

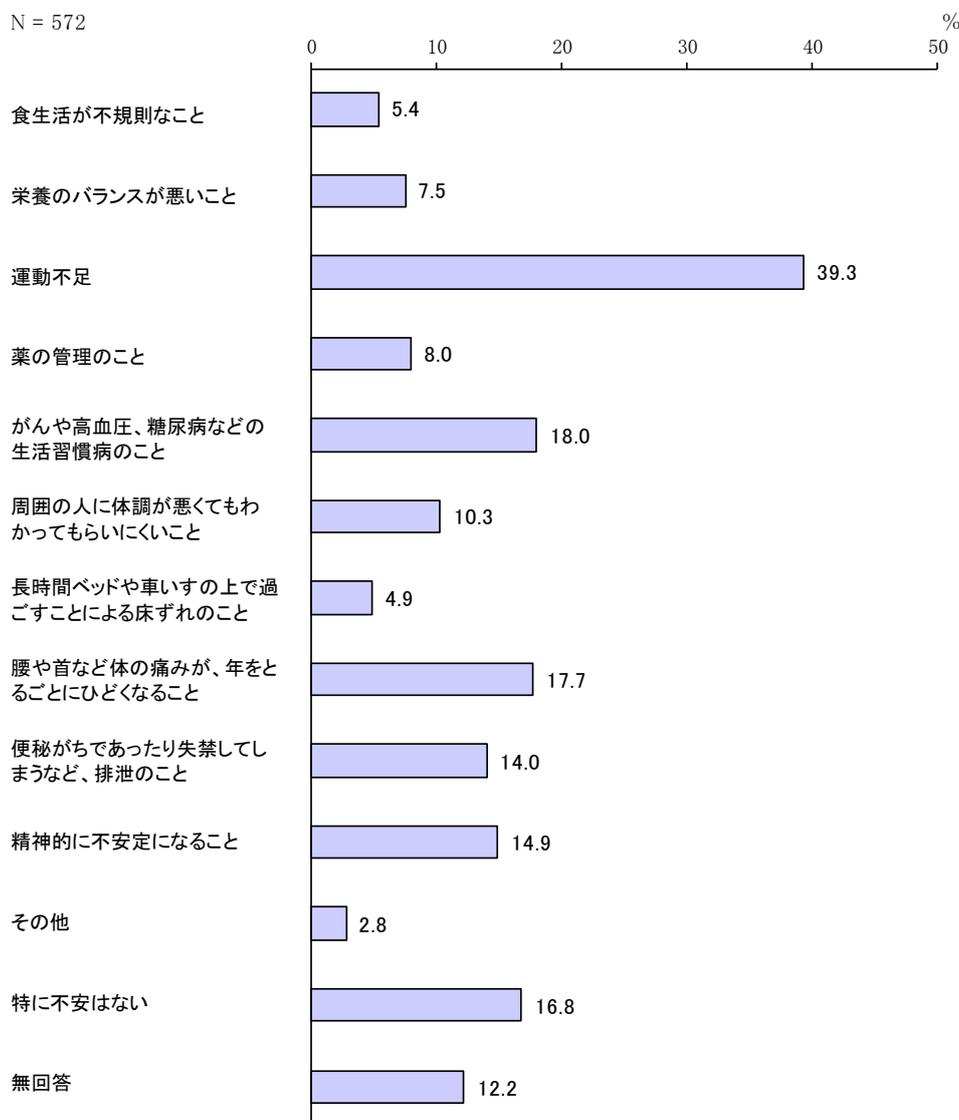


単位：%

区分	有効回答数(件)	住宅・建築物のバリアフリー化	道路の段差解消、歩道の整備	建築物のスロープやエレベーターの設置	障がい者トイレの設置	誘導ブロックの設置	音声式信号機の設置	その他	特にない	無回答
身体障害者手帳所持者	502	20.5	21.7	14.1	15.3	2.0	2.2	2.2	39.8	19.3
療育手帳所持者	391	17.9	20.5	13.0	16.1	2.3	2.8	3.1	41.2	19.2
精神保健福祉手帳所持者	366	19.1	21.0	14.5	15.8	2.2	1.9	3.3	42.6	17.2
自立支援医療受給者証所持者	62	11.3	17.7	14.5	12.9	4.8	4.8	6.5	45.2	16.1
難病患者	37	27.0	27.0	27.0	18.9	—	—	5.4	35.1	16.2

問 17 あなたは、障がい以外の健康状態のことで、特に不安なことはありますか。(3つまで選んで○)

「運動不足」の割合が 39.3%と最も高く、次いで「がんや高血圧、糖尿病などの生活習慣病のこと」の割合が 18.0%、「腰や首など体の痛みが、年をとるごとにひどくなること」の割合が 17.7%となっています。



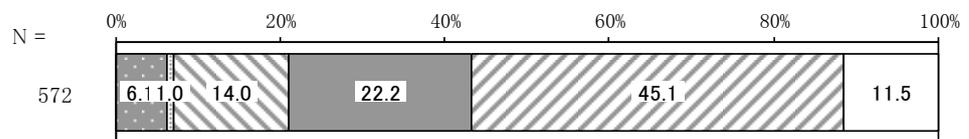
単位：%

区分	有効回答数(件)	食生活が不規則なこと	栄養のバランスが悪いこと	運動不足	薬の管理のこと	病のこと がんや高血圧、糖尿病などの生活習慣	周囲の人に体調が悪くてもわかってもらにくいこと	長時間ベッドや車いすの上で過ごすことによる床ずれのこと	腰や首など体の痛みが、年をとることにひどくなること	便秘がちであったり失禁してしまうなど、排泄のこと	精神的に不安定になること	その他	特に不安はない	無回答
身体障害者手帳所持者	502	5.6	7.6	40.6	7.8	18.9	9.4	5.6	19.1	14.7	12.4	2.8	17.3	11.4
療育手帳所持者	391	5.9	6.9	41.4	8.2	16.6	10.2	5.6	15.1	14.1	14.6	2.8	17.4	11.5
精神保健福祉手帳所持者	366	6.0	7.4	42.6	8.5	16.7	11.5	6.0	16.9	14.5	16.7	2.2	15.8	10.1
自立支援医療受給者証所持者	62	8.1	17.7	30.6	9.7	14.5	14.5	3.2	9.7	6.5	25.8	—	17.7	12.9
難病患者	37	10.8	8.1	40.5	5.4	18.9	8.1	8.1	27.0	16.2	8.1	—	16.2	10.8

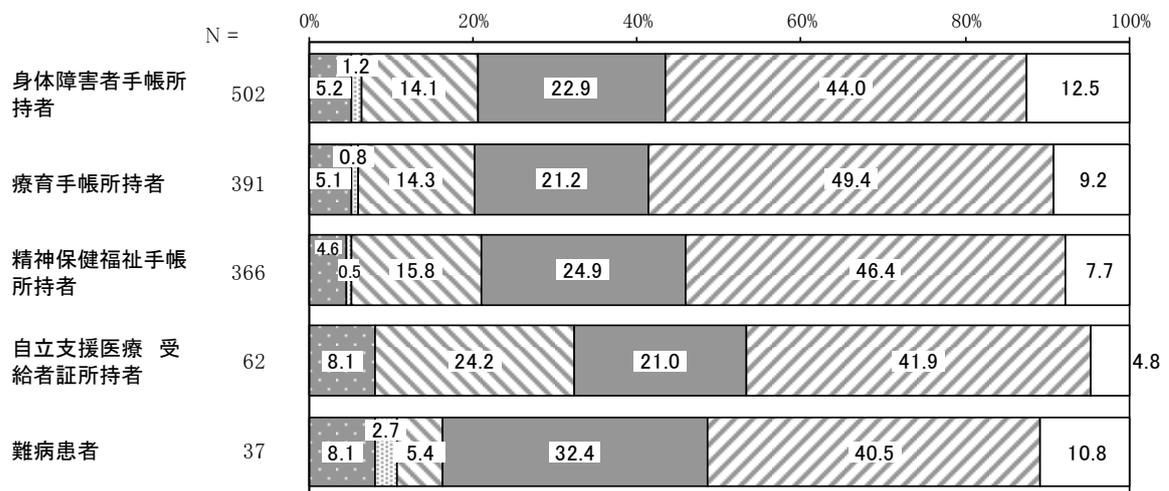
問 18 あなたは、同じ悩みなどを持つ方が話し合ったり、交流する場に参加したいですか。(1つに○)

「わからない」の割合が 45.1%と最も高く、次いで「現在、そうした活動に参加していないが、今後も参加したくない」の割合が 22.2%、「現在、そうした活動に参加していないので、今後は参加したい」の割合が 14.0%となっています。

- 現在、そうした活動に参加しており、今後も参加したい
- ▨ 現在、そうした活動に参加しているが、今後は参加したくない
- ▩ 現在、そうした活動に参加していないので、今後は参加したい
- 現在、そうした活動に参加していないが、今後も参加したくない
- わからない
- 無回答

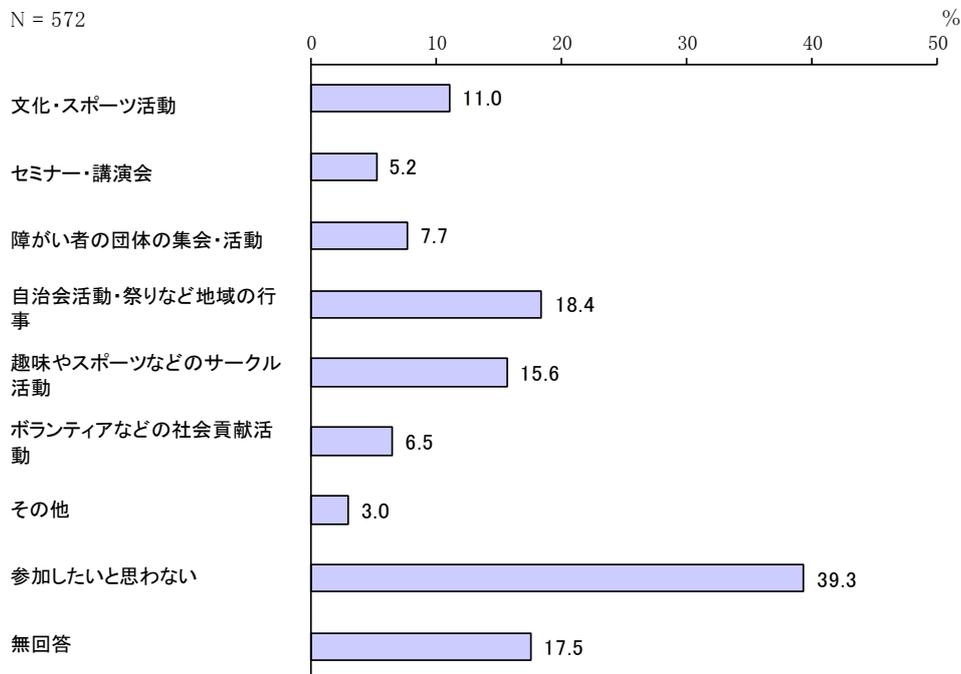


- 現在、そうした活動に参加しており、今後も参加したい
- ▨ 現在、そうした活動に参加しているが、今後は参加したくない
- ▩ 現在、そうした活動に参加していないので、今後は参加したい
- 現在、そうした活動に参加していないが、今後も参加したくない
- わからない
- 無回答



問 20 あなたは、次のなかでどのような活動に参加したいと思われませんか。（3つまで選んで○）

「参加したいと思わない」の割合が 39.3%と最も高く、次いで「自治会活動・祭りなど地域の行事」の割合が 18.4%、「趣味やスポーツなどのサークル活動」の割合が 15.6%となっています。



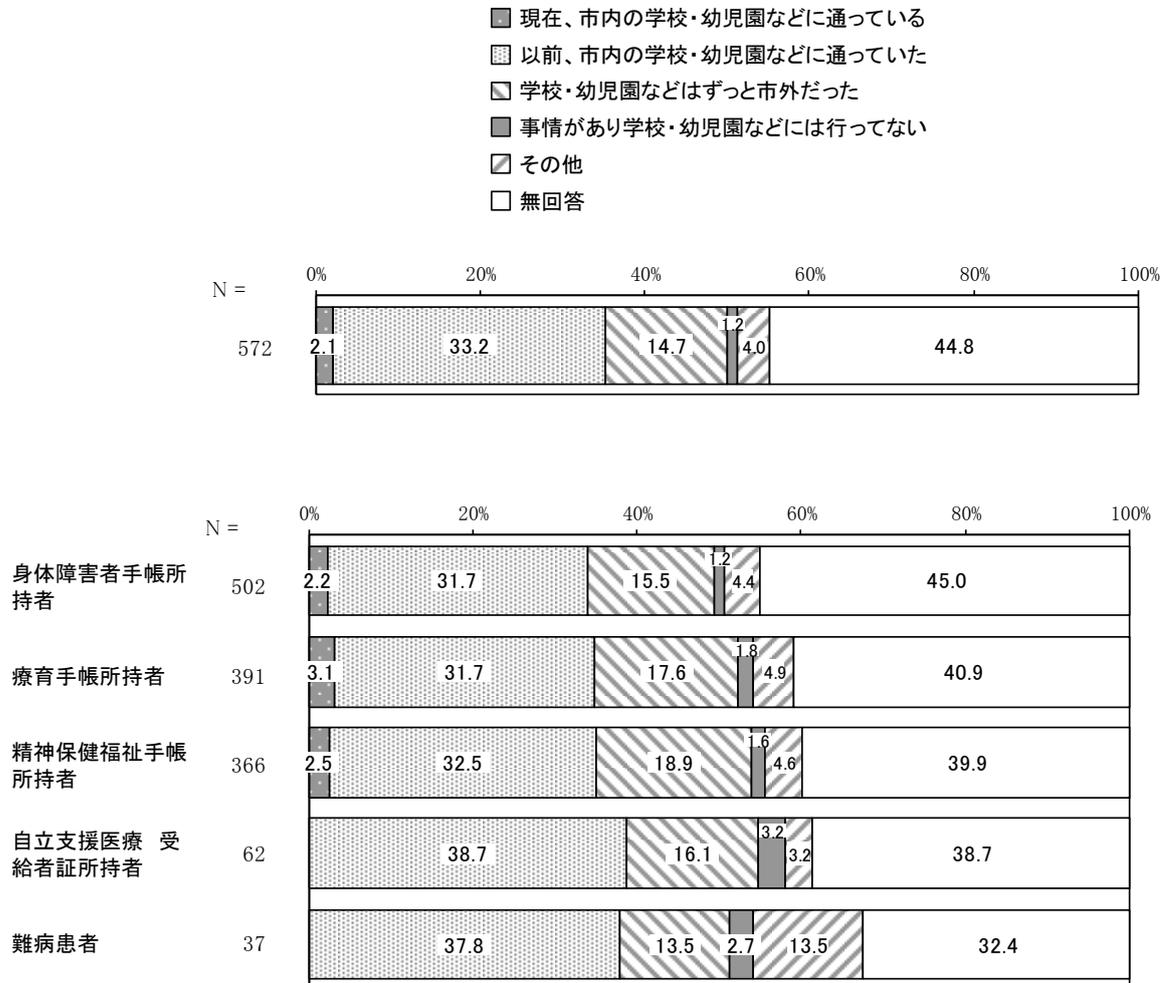
単位：%

区分	有効回答数 (件)	文化・スポーツ活動	セミナー・講演会	障がい者の団体の集会・活動	自治会活動・祭りなど地域の行事	趣味やスポーツなどのサークル活動	ボランティアなどの社会貢献活動	その他	参加したいと思わない	無回答
身体障害者手帳所持者	502	11.4	4.8	7.6	19.3	15.7	6.4	3.4	39.4	16.5
療育手帳所持者	391	11.8	4.6	7.9	21.2	17.1	5.6	3.1	39.6	14.3
精神保健福祉手帳所持者	366	12.8	5.7	7.4	20.8	19.1	6.8	3.3	41.3	10.7
自立支援医療 受給者証所持者	62	19.4	8.1	9.7	12.9	22.6	11.3	1.6	41.9	9.7
難病患者	37	8.1	5.4	8.1	5.4	16.2	5.4	2.7	54.1	10.8

(4) 教育・学校について

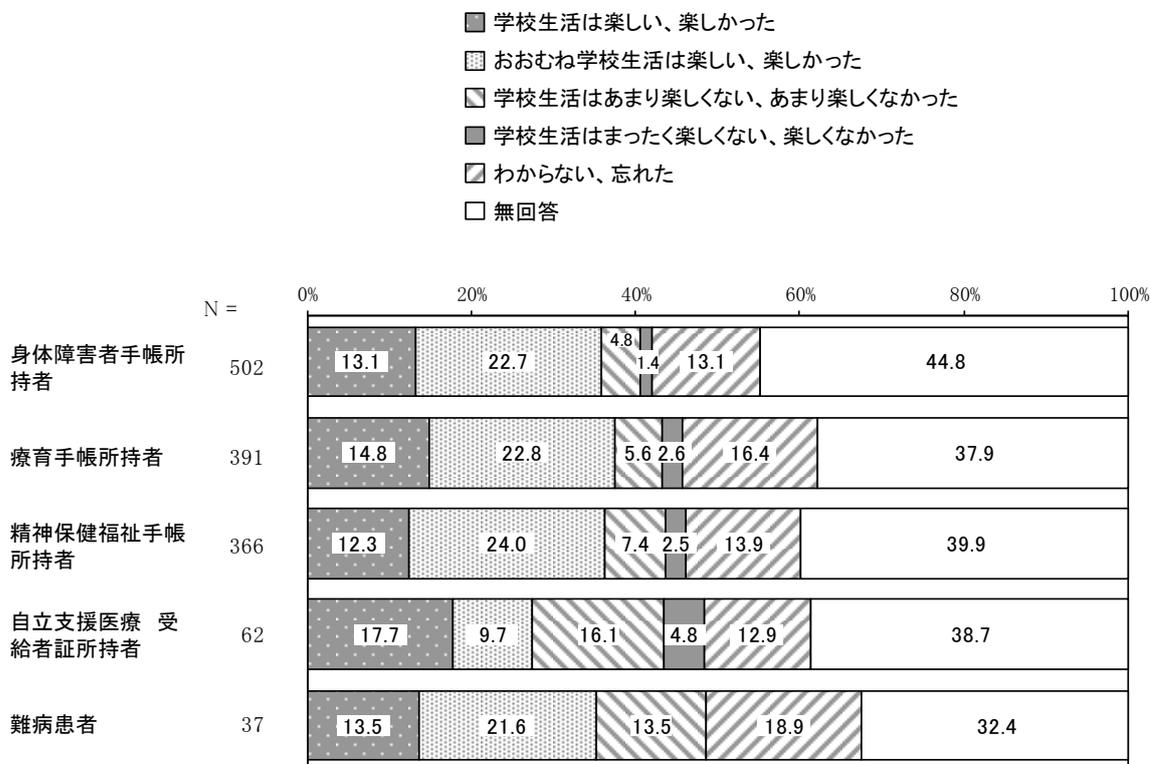
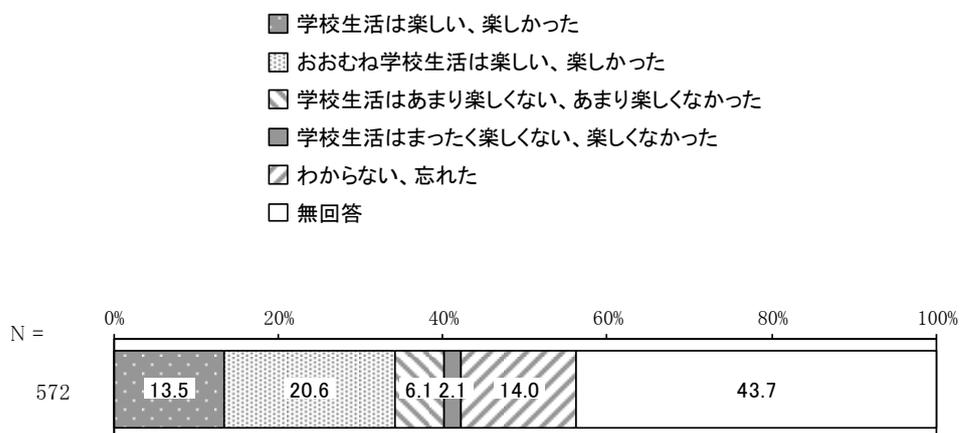
問 21 あなたは、瑞浪市内の学校・幼稚園などに通っていますか、または通っていましたか。(1つに○)

「以前、市内の学校・幼稚園などに通っていた」の割合が33.2%と最も高く、次いで「学校・幼稚園などはずっと市外だった」の割合が14.7%となっています。



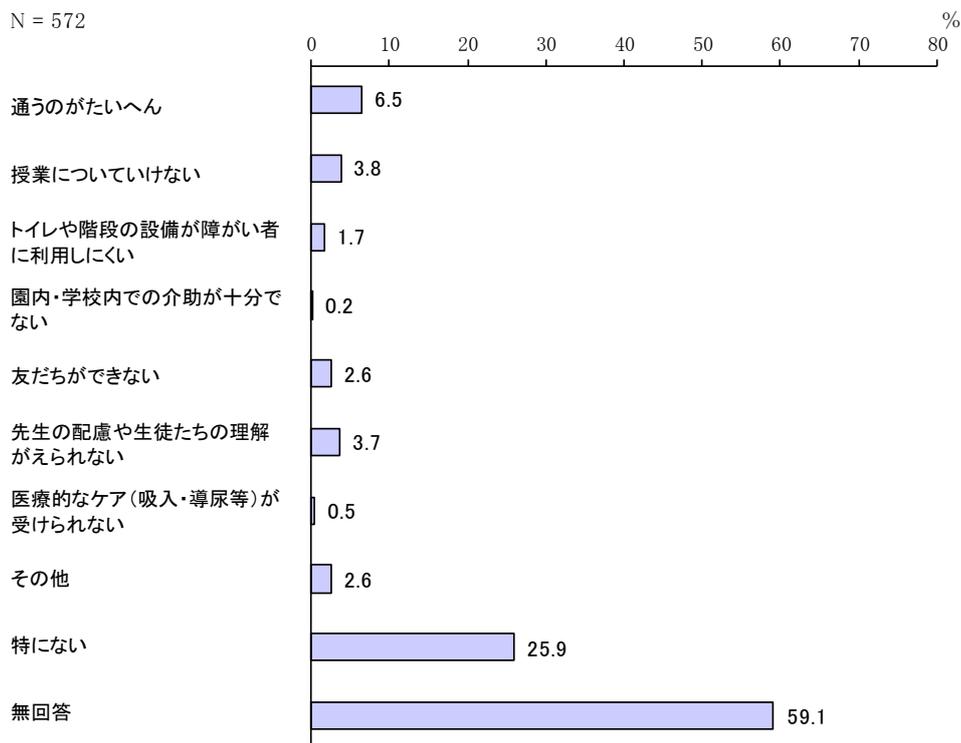
問 22 学校生活について、どのようにお感じですか。(1つに〇)

「おおむね学校生活は楽しい、楽しかった」と「おおむね学校生活は楽しい、楽しかった」を合わせた“楽しい、楽しかった”の割合が34.1%、「学校生活はあまり楽しくない、あまり楽しくなかった」と「学校生活はまったく楽しくない、楽しくなかった」を合わせた“楽しくない、楽しくなかった”の割合が8.2%となっています。



問 23 通園・通学して特に困っていることがありますか。(あてはまるものすべて)

「特にない」の割合が 25.9%と最も高くなっています。



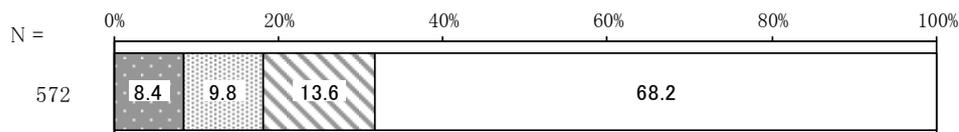
単位：%

区分	有効回答数(件)	通うのがたいへん	授業についていけない	トイレや階段の設備が障がい者に利用しにくい	園内・学校内での介助が十分でない	友だちができない	先生の配慮や生徒たちの理解がえられない	医療的なケア(吸入・導尿等)が受けられない	その他	特にない	無回答
身体障害者手帳所持者	502	5.8	2.8	1.8	0.2	1.4	2.6	0.2	2.8	26.3	60.8
療育手帳所持者	391	7.7	4.9	2.0	0.3	3.1	3.3	0.3	3.6	29.7	52.4
精神保健福祉手帳所持者	366	7.7	4.6	2.2	0.3	2.7	5.2	0.5	3.3	29.5	51.9
自立支援医療受給者証所持者	62	6.5	4.8	—	—	6.5	9.7	—	—	29.0	54.8
難病患者	37	10.8	2.7	—	—	—	—	—	—	27.0	59.5

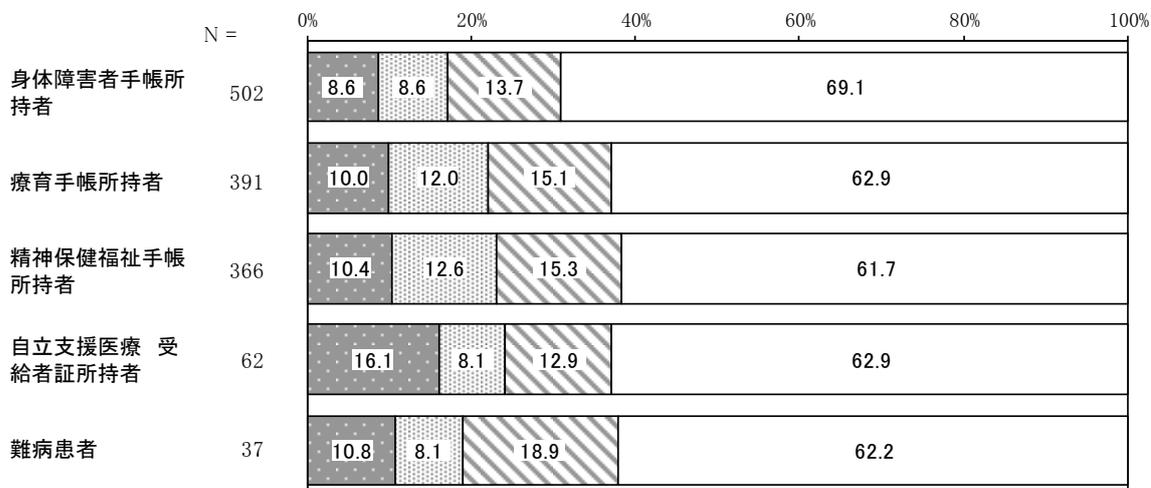
問 24 学校で勉強する場合に、どの形を望みますか。(1つに○)

「障がいの特性や一人ひとりの能力に応じたクラスや学校で勉強しながら、普通学級や地域の学校でも勉強する機会をもちたい」の割合が13.6%と最も高くなっています。

- 障がいのあるなしにかかわらず、普通学級で勉強したい
- 障がいの特性や一人ひとりの能力に応じたクラスや学校で勉強したい
- 障がいの特性や一人ひとりの能力に応じたクラスや学校で勉強しながら、普通学級や地域の学校でも勉強する機会をもちたい
- 無回答

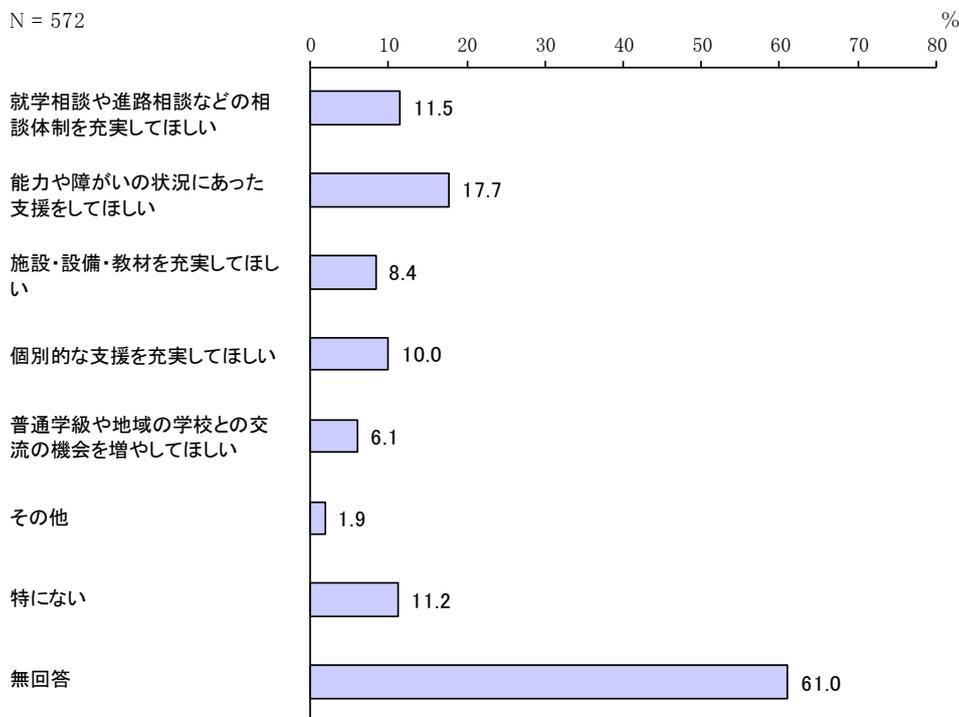


- 障がいのあるなしにかかわらず、普通学級で勉強したい
- 障がいの特性や一人ひとりの能力に応じたクラスや学校で勉強したい
- 障がいの特性や一人ひとりの能力に応じたクラスや学校で勉強しながら、普通学級や地域の学校でも勉強する機会をもちたい
- 無回答



問 25 学校教育に望むことはどのようなことですか。(あてはまるものすべて)

「能力や障がいの状況にあった支援をしてほしい」の割合が 17.7%と最も高く、次いで「就学相談や進路相談などの相談体制を充実してほしい」の割合が 11.5%、「特にない」の割合が 11.2%となっています。



単位：%

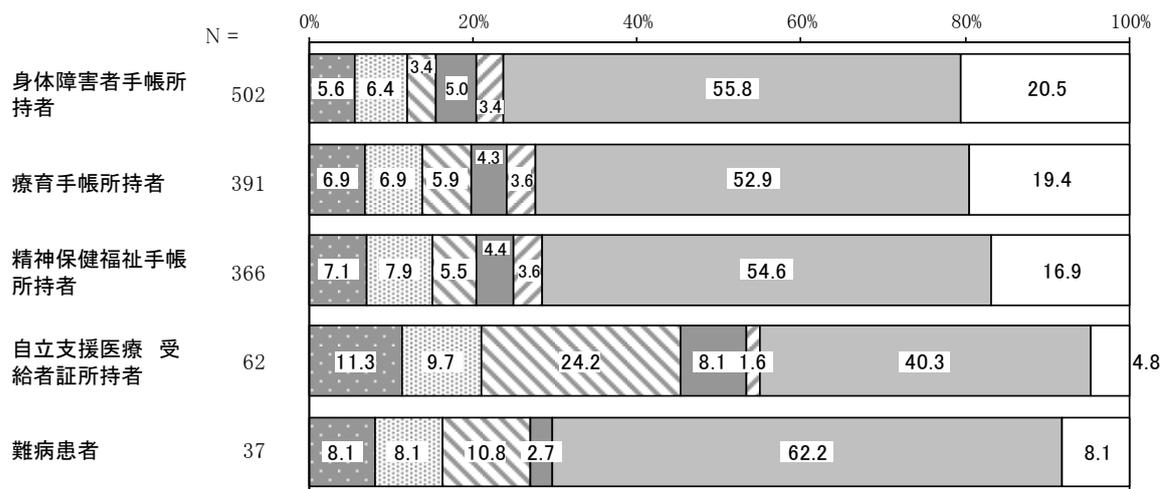
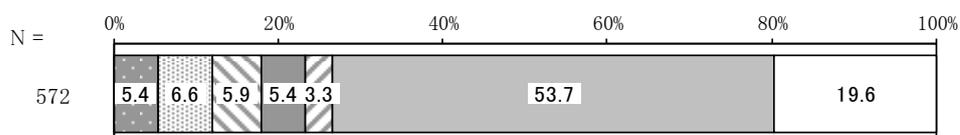
区分	有効回答数 (件)	就学相談や進路相談など の相談体制を充実し てほしい	能力や障がいの状況に あった支援をしてほし い	施設・設備・教材を充 実してほしい	個別的な支援を充 実してほしい	普通学級や地域の学 校との交流の機会を 増やしてほしい	その他	特にな い	無回 答
身体障害者手帳所持者	502	10.8	17.1	8.2	9.2	5.6	2.0	11.0	62.0
療育手帳所持者	391	12.8	19.4	10.5	10.7	6.9	2.6	12.8	55.2
精神保健福祉手帳所持者	366	12.8	21.6	10.7	11.5	6.6	1.9	12.0	54.9
自立支援医療 受給者証所持者	62	16.1	21.0	11.3	11.3	8.1	1.6	17.7	53.2
難病患者	37	8.1	24.3	8.1	8.1	2.7	2.7	13.5	56.8

(5) 仕事・作業・訓練について

問 26 現在、仕事や作業、訓練をしていますか。(1つに○)

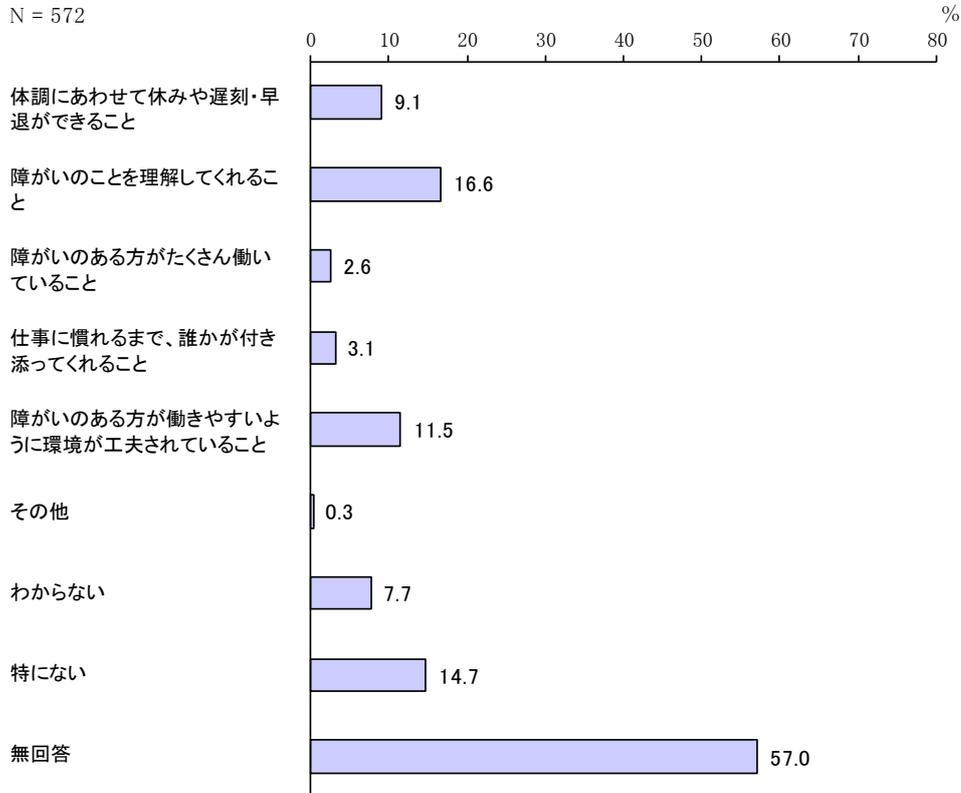
「働いていない」の割合が53.7%と最も高くなっています。

- 会社などで正社員、正職員として働いている
- 会社などでアルバイト、パートとして働いている
- 障害者就労支援事業施設に通っている
- 自分で事業をしている・家業を手伝っている
- その他
- 働いていない
- 無回答



問 28 仕事や作業、訓練の場所に、特に望むことはありますか。(3つまで選んで○)

「障がいのことを理解してくれること」の割合が 16.6%と最も高く、次いで「特にない」の割合が 14.7%、「障がいのある方が働きやすいように環境が工夫されていること」の割合が 11.5%となっています。

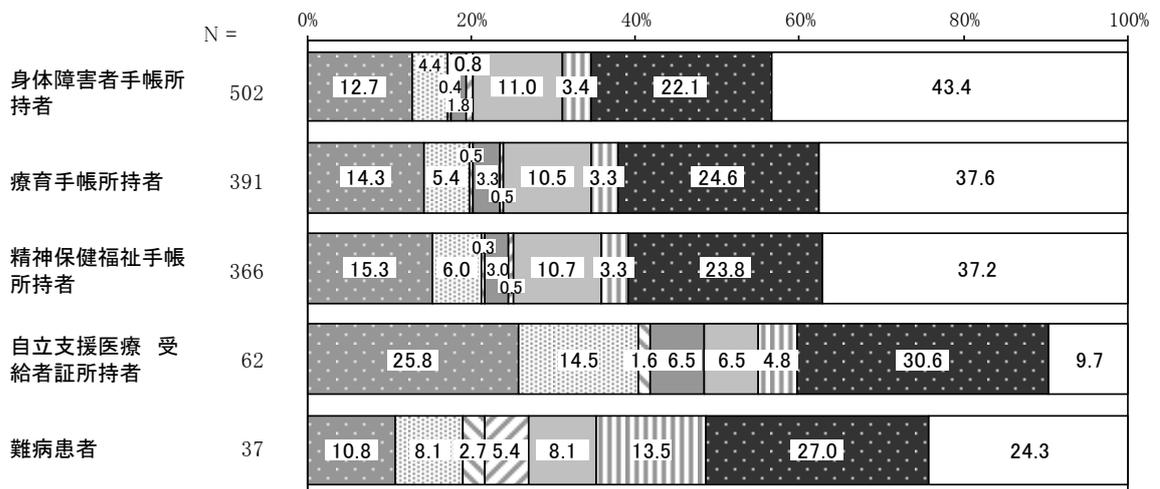
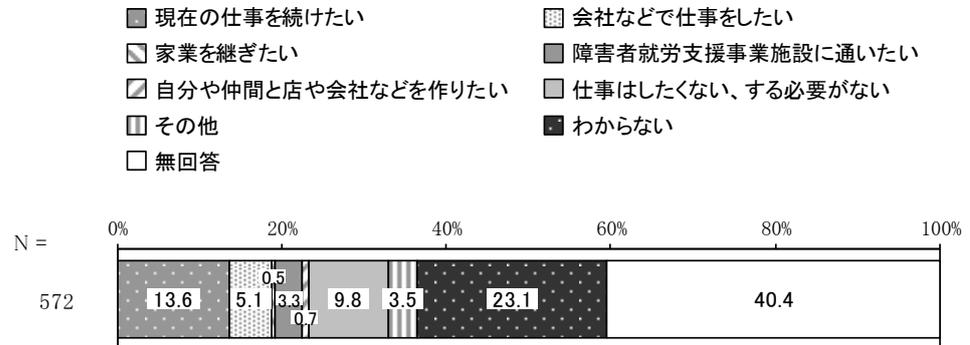


単位：%

区分	有効回答数(件)	体調にあわせて休みや遅刻・早退ができること	障がいのことを理解してくれること	障がいのある方がたくさん働いていること	誰かが付き添ってくれること	仕事に慣れるまで、誰かが付き添ってくれること	障がいのある方が働きやすいように環境が工夫されていること	その他	わからない	特にない	無回答
身体障害者手帳所持者	502	7.6	13.5	2.0	2.0	10.2	0.2	6.2	15.7	60.4	
療育手帳所持者	391	8.4	16.6	3.3	2.6	11.8	0.3	9.2	15.3	55.2	
精神保健福祉手帳所持者	366	11.5	19.4	3.0	3.8	13.1	0.5	7.1	14.8	54.6	
自立支援医療 受給者証所持者	62	21.0	45.2	8.1	14.5	25.8	1.6	8.1	16.1	22.6	
難病患者	37	8.1	10.8	—	—	18.9	—	5.4	21.6	54.1	

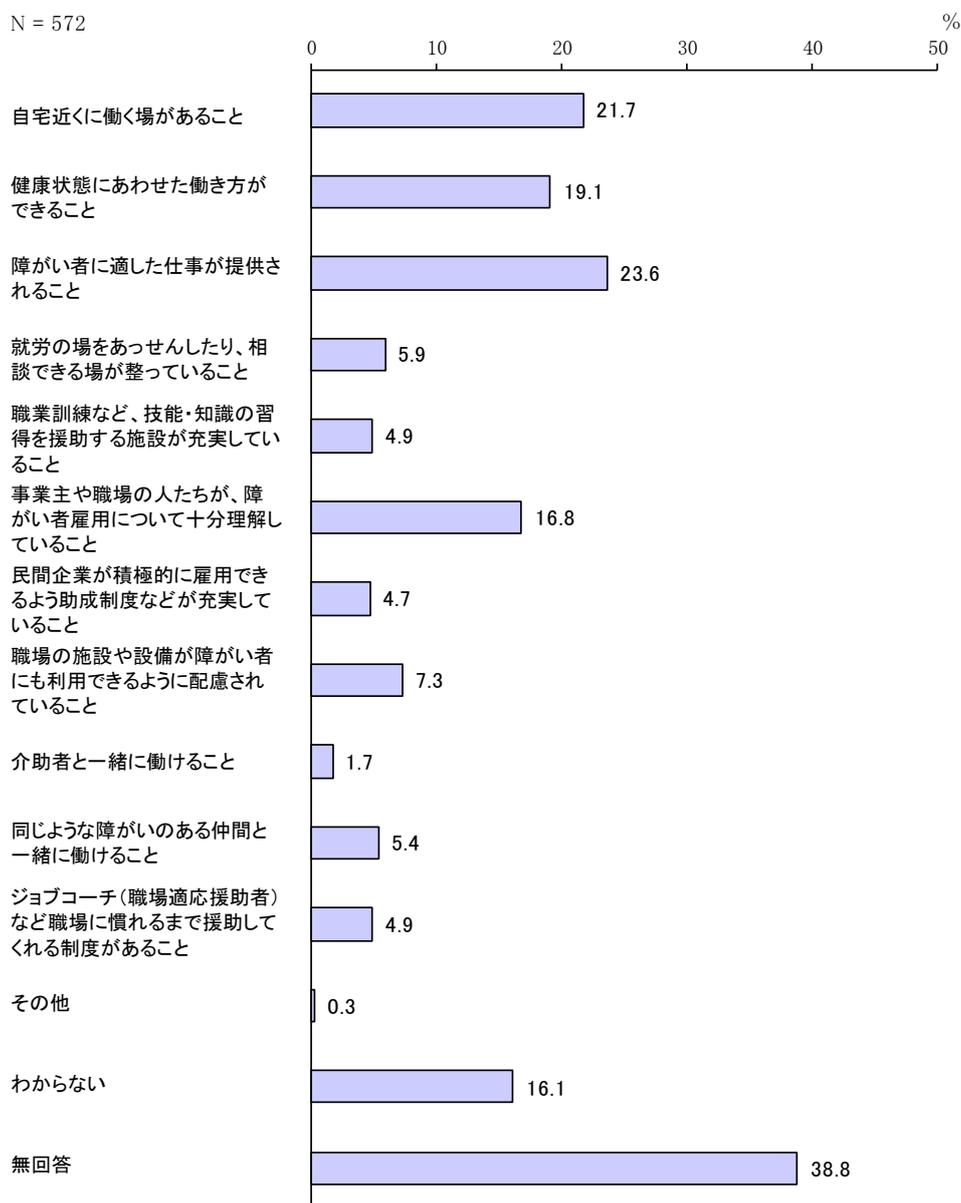
問 29 あなたは、今後（将来）、どのように仕事や作業をしたいですか。（1つに○）

「わからない」の割合が23.1%と最も高く、次いで「現在の仕事を続けたい」の割合が13.6%となっています。



問 30 障がい者が働くためには、どのような環境が整っていることが大切だと思いますか。(おもなもの3つまで)

「障がい者に適した仕事を提供されること」の割合が 23.6%と最も高く、次いで「自宅近くに働く場があること」の割合が 21.7%、「健康状態にあわせた働き方ができること」の割合が 19.1%となっています。



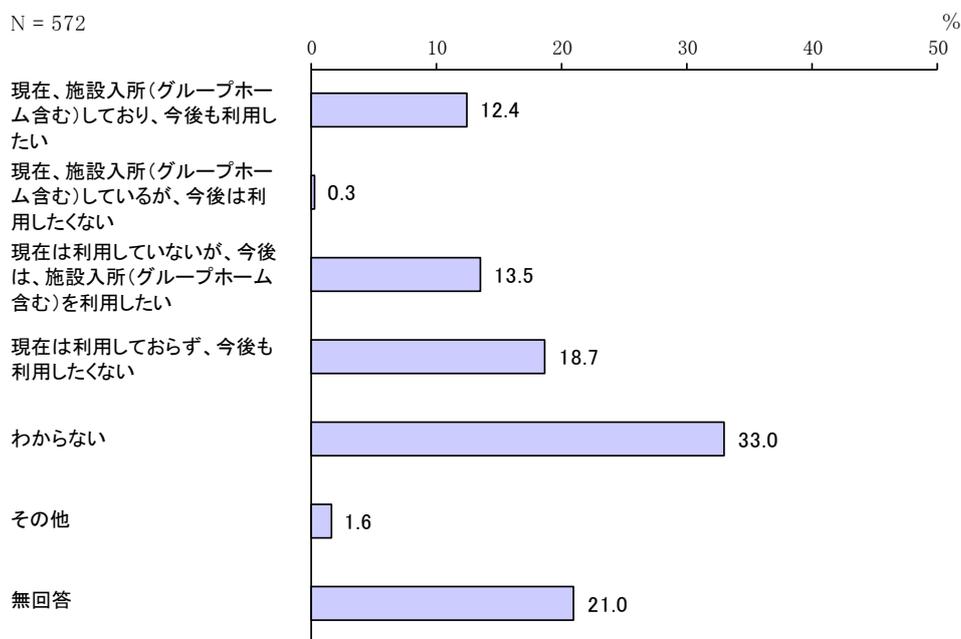
単位：%

区分	有効回答数(件)	自宅近くに働く場があること	健康状態にあわせた働き方ができること	障がい者に適した仕事を提供されること	就労の場をあっせんしたり、相談できる場が整っていること	職業訓練など、技能・知識の習得を援助する施設が充実していること	事業主や職場の人たちが、障がい者雇用について十分理解していること	民間企業が積極的に雇用できるよう助成制度などが充実していること	職場の施設や設備が障がい者にも利用できるように配慮されていること	介助者と一緒に働けること	同じような障がいのある仲間と一緒に働けること	ジョブコーチ(職場適応援助者)など職場に慣れるまで援助してくれる制度があること	その他	わからない	無回答
身体障害者手帳所持者	502	21.5	18.3	22.1	5.6	4.4	16.3	4.8	8.2	1.8	4.0	3.6	0.4	15.7	41.4
療育手帳所持者	391	22.5	18.2	26.1	6.6	5.1	17.1	4.1	9.0	1.8	5.6	4.3	0.5	18.4	34.5
精神保健福祉手帳所持者	366	23.2	22.1	27.3	7.4	4.6	18.9	3.8	9.0	1.4	5.7	6.3	0.5	16.7	34.2
自立支援医療受給者証所持者	62	27.4	35.5	38.7	9.7	9.7	19.4	4.8	4.8	—	11.3	14.5	—	17.7	16.1
難病患者	37	18.9	29.7	21.6	2.7	2.7	21.6	10.8	5.4	5.4	2.7	13.5	2.7	18.9	27.0

(6) 福祉サービスについて

問 32 生活の場として施設入所を利用したいですか。(あてはまるものに○)

「わからない」の割合が33.0%と最も高く、次いで「現在は利用しておらず、今後も利用したくない」の割合が18.7%、「現在は利用していないが、今後は、施設入所（グループホーム含む）を利用したい」の割合が13.5%となっています。

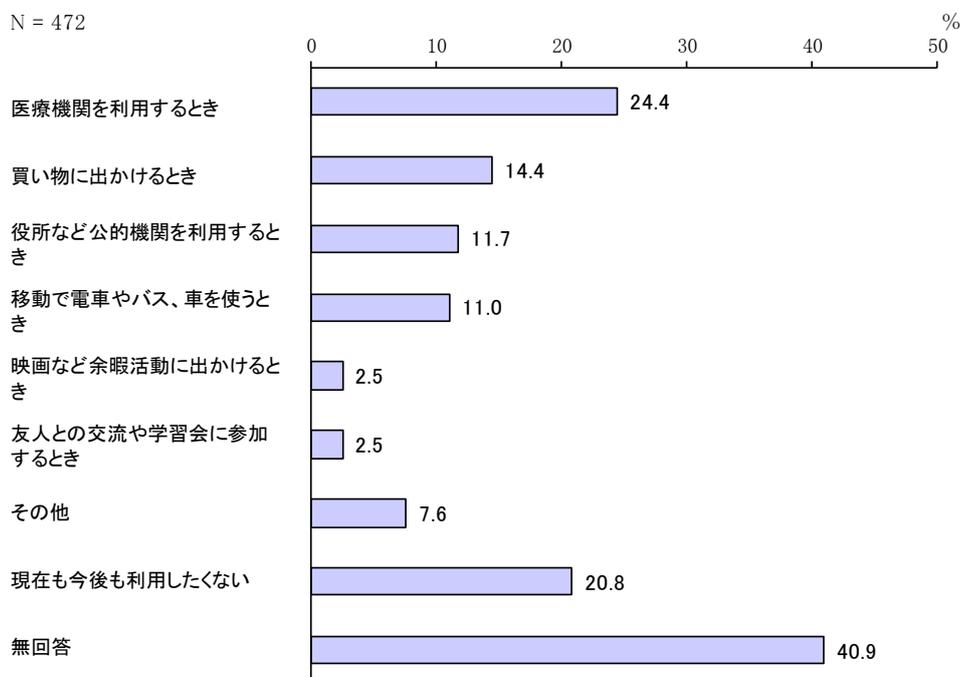


単位：%

区分	有効回答数(件)	現在、施設入所(グループホーム含む)しており、今後も利用したい	現在、施設入所(グループホーム含む)しているが、今後は利用したくない	現在は利用していないが、今後は、施設入所(グループホーム含む)を利用したい	現在は利用しておらず、今後も利用したくない	わからない	その他	無回答
身体障害者手帳所持者	502	13.1	0.2	13.1	17.9	32.3	1.8	22.1
療育手帳所持者	391	15.9	—	13.6	16.1	35.8	1.3	17.9
精神保健福祉手帳所持者	366	16.4	0.3	13.4	18.9	35.0	1.6	15.0
自立支援医療 受給者証所持者	62	6.5	1.6	12.9	27.4	38.7	—	12.9
難病患者	37	13.5	2.7	5.4	29.7	32.4	2.7	13.5

問 33 【現在施設入所中でない方はお答えください】移動支援（ガイドヘルプ）を利用したいですか。また、どのような時に利用したいですか。（あてはまるものすべてに○）

「医療機関を利用するとき」の割合が 24.4%と最も高く、次いで「現在も今後も利用したくない」の割合が 20.8%、「買い物に出かけるとき」の割合が 14.4%となっています。



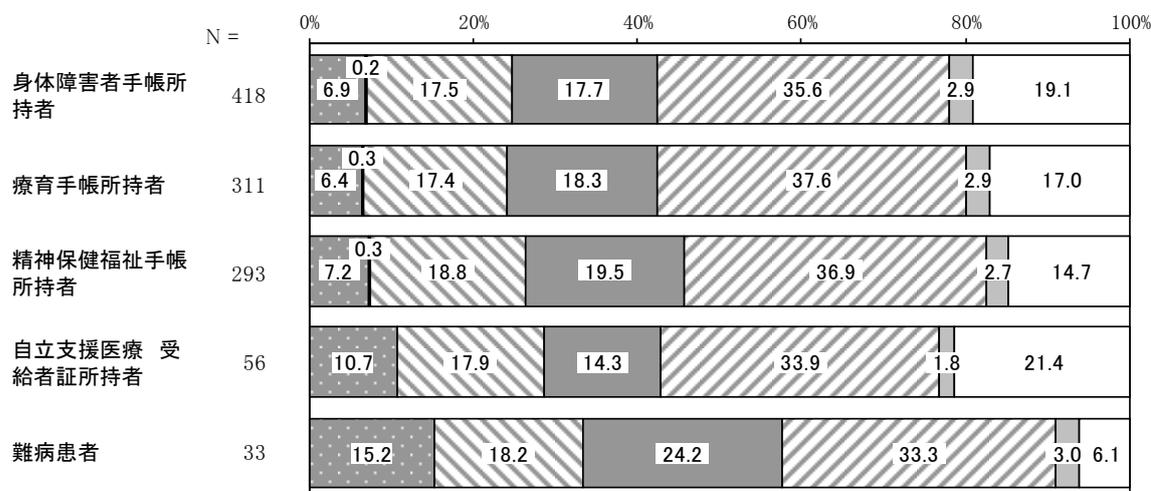
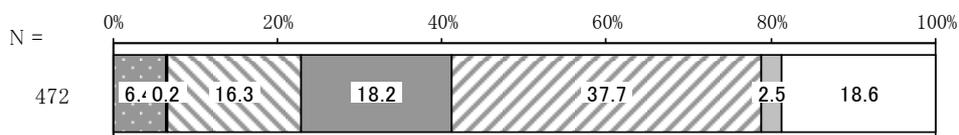
単位：%

区分	有効回答数(件)	医療機関を利用するとき	買い物に出かけるとき	役所など公的機関を利用するとき	移動で電車やバス、車を使うとき	映画など余暇活動に出かけるとき	友人との交流や学習会に参加するとき	その他	現在も今後も利用したくない	無回答
身体障害者手帳所持者	418	24.4	14.4	11.7	10.0	2.4	2.6	8.1	19.9	41.4
療育手帳所持者	311	24.4	13.5	11.6	11.3	2.9	2.6	8.0	22.2	37.9
精神保健福祉手帳所持者	293	25.3	13.3	11.9	10.6	2.0	2.4	8.5	22.5	37.2
自立支援医療 受給者証所持者	56	30.4	23.2	14.3	19.6	5.4	3.6	5.4	21.4	35.7
難病患者	33	27.3	15.2	12.1	24.2	6.1	3.0	12.1	21.2	33.3

問 34 【現在施設入所中でない方はお答えください】 ご自宅にお住まいの方は、居宅介護（ホームヘルプサービス）を利用したいですか。（1つに○）

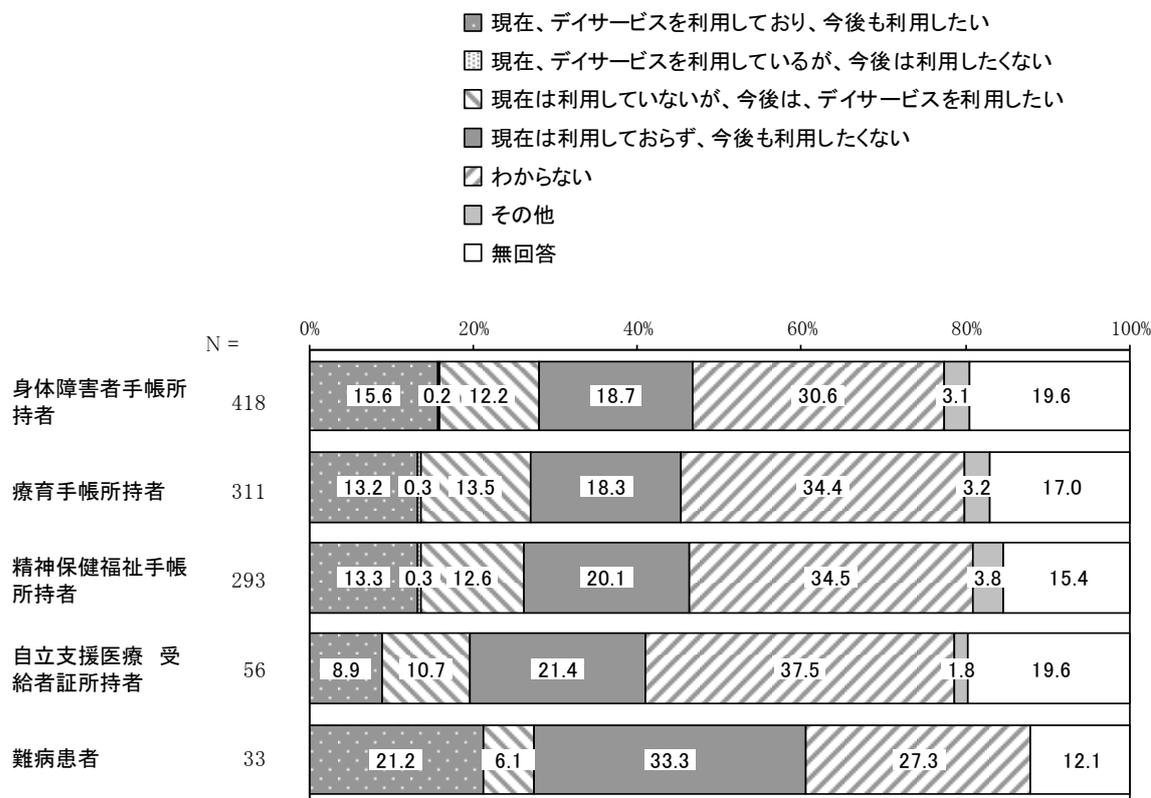
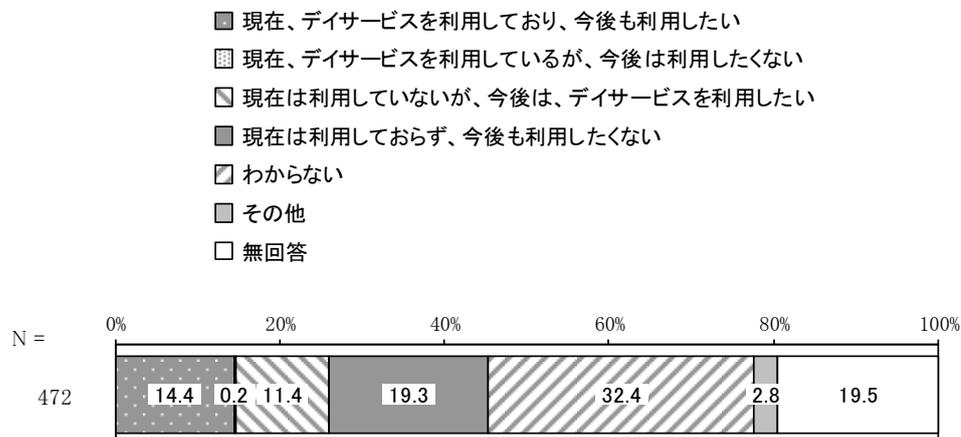
「わからない」の割合が37.7%と最も高く、次いで「現在は利用しておらず、今後も利用したくない」の割合が18.2%、「現在は利用していないが、今後は、ホームヘルプサービスを利用したい」の割合が16.3%となっています。

- 現在、ホームヘルプサービスを利用しており、今後も利用したい
- ▨ 現在、ホームヘルプサービスを利用しているが、今後は利用したくない
- ▩ 現在は利用していないが、今後は、ホームヘルプサービスを利用したい
- 現在は利用しておらず、今後も利用したくない
- わからない
- その他
- 無回答



問 35 【現在施設入所中でない方はお答えください】 ご自宅やグループホームにお住まいの方は、デイサービス（日帰りの通所）を利用したいですか。（1つに○）

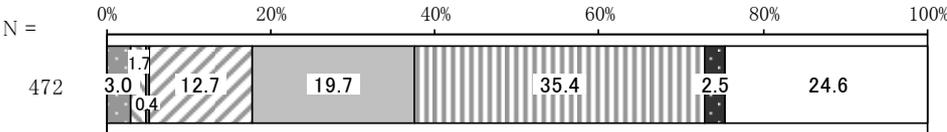
「わからない」の割合が32.4%と最も高く、次いで「現在は利用しておらず、今後も利用したくない」の割合が19.3%、「現在、デイサービスを利用しており、今後も利用したい」の割合が14.4%となっています。



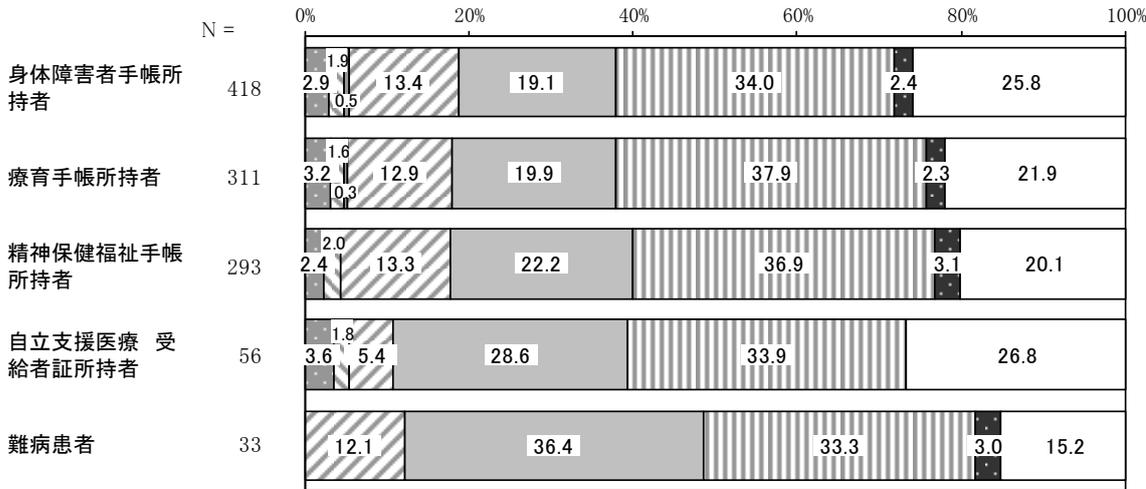
問 36 【現在施設入所中でない方はお答えください】 ご自宅にお住まいの方は、障害者入所施設でのショートステイ（短期入所）を利用したいですか。（1つに○）

「わからない」の割合が35.4%と最も高く、次いで「現在は利用しておらず、今後も利用したくない」の割合が19.7%、「現在は利用していないが、今後はショートステイを利用したい」の割合が12.7%となっています。

- 障害者入所施設のショートステイを利用したことがあり、今後も利用したい
- ▨ 障害者入所施設のショートステイを利用したことがあるが、今後は利用したくない
- ▩ 介護保険施設のショートステイを利用したことがあり、今後も利用したい
- 介護保険施設のショートステイを利用したことがあるが、今後は利用したくない
- ▨ 現在は利用していないが、今後はショートステイを利用したい
- 現在は利用しておらず、今後も利用したくない
- ▩ わからない
- その他
- 無回答

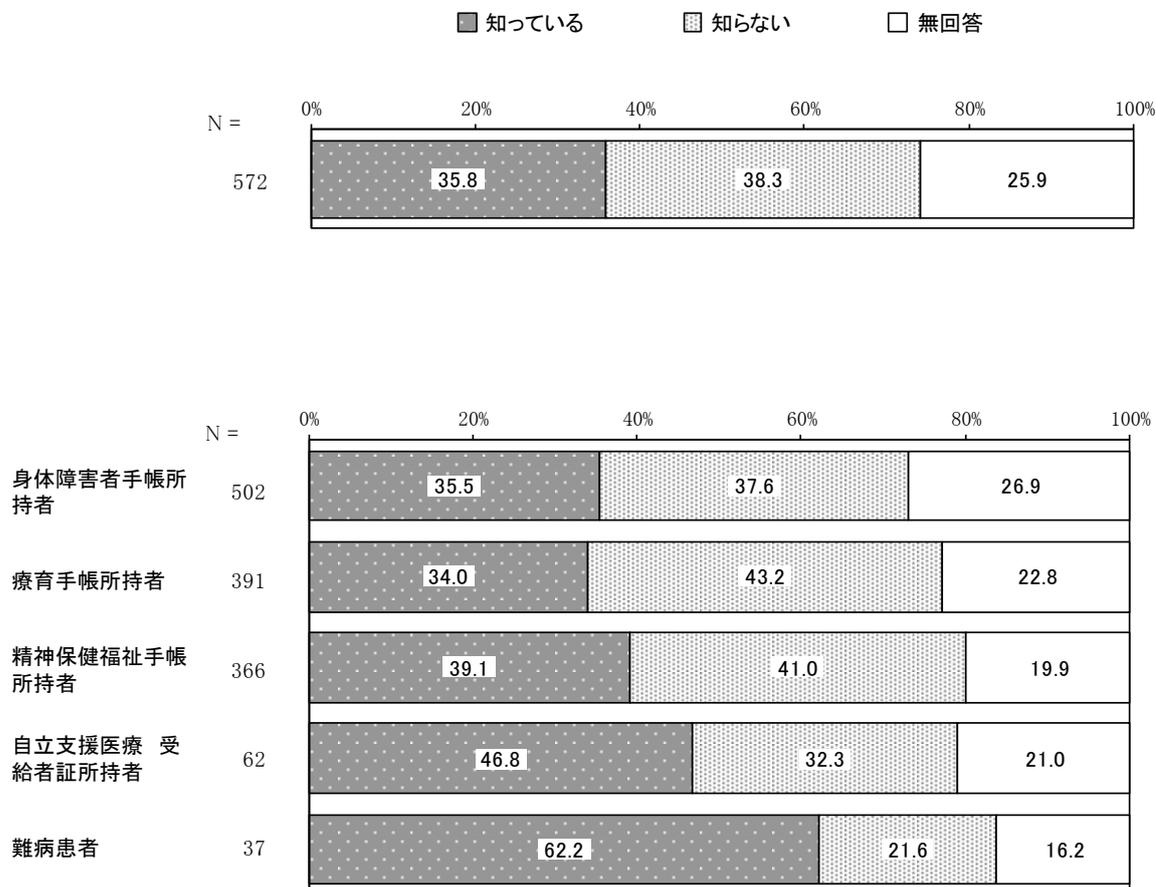


- 障害者入所施設のショートステイを利用したことがあり、今後も利用したい
- ▨ 障害者入所施設のショートステイを利用したことがあるが、今後は利用したくない
- ▩ 介護保険施設のショートステイを利用したことがあり、今後も利用したい
- 介護保険施設のショートステイを利用したことがあるが、今後は利用したくない
- ▨ 現在は利用していないが、今後はショートステイを利用したい
- 現在は利用しておらず、今後も利用したくない
- ▩ わからない
- その他
- 無回答



問 37 成年後見制度は、知的障がい・精神障がいなどのために十分な判断ができない方の権利を守る制度ですが、あなたは成年後見制度について、ご存知ですか。(1つに○)

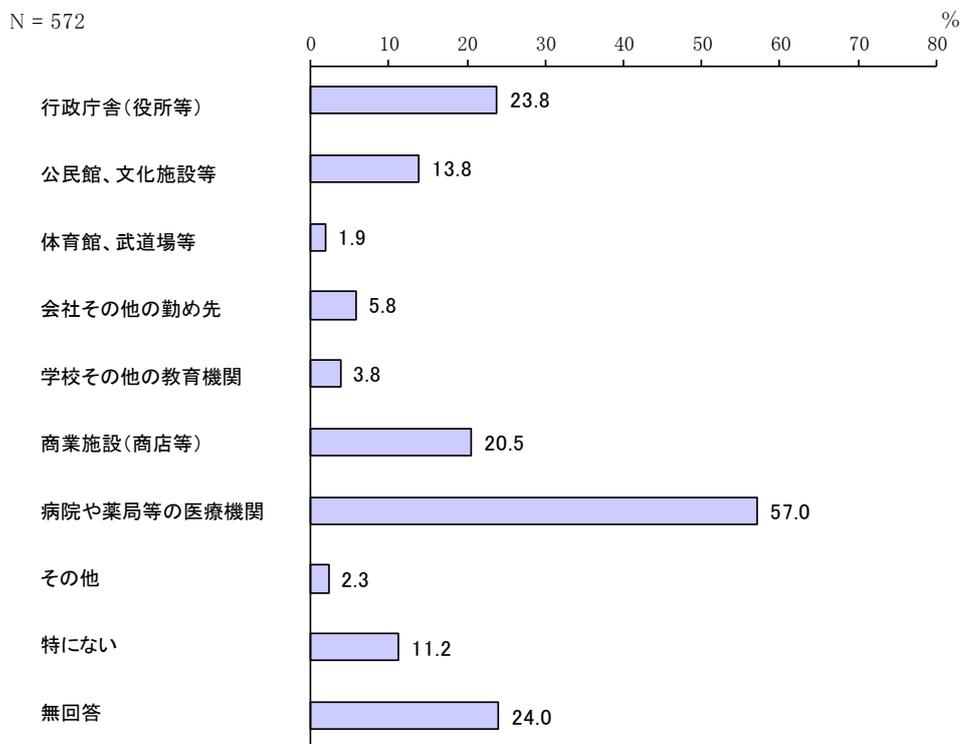
「知っている」の割合が 35.8%、「知らない」の割合が 38.3%となっています。



(7) これからの共生の地域づくりについて

問 38 ふだんよく利用する市内の公的機関や施設、民間事業所等は、どのような所ですか。(3つまで選んで○)

「病院や薬局等の医療機関」の割合が 57.0%と最も高く、次いで「行政庁舎（役所等）」の割合が 23.8%、「商業施設（商店等）」の割合が 20.5%となっています。



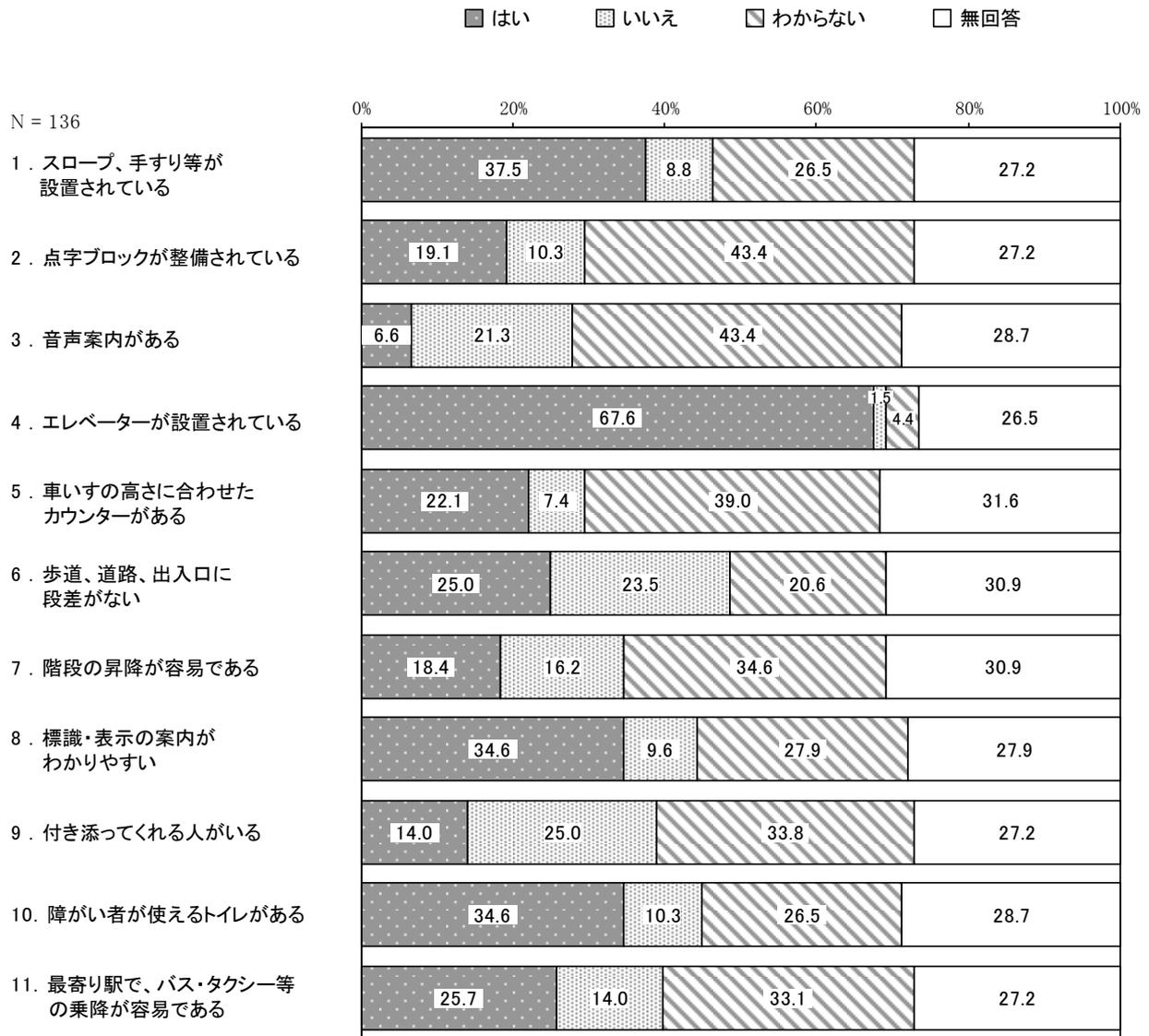
単位：%

区分	有効回答数(件)	行政庁舎(役所等)	公民館、文化施設等	体育館、武道場等	会社その他の勤め先	学校その他の教育機関	商業施設(商店等)	病院や薬局等の医療機関	その他	特にない	無回答
身体障害者手帳所持者	502	22.3	14.3	2.0	5.2	3.4	19.9	56.6	2.4	10.8	24.7
療育手帳所持者	391	23.8	12.3	1.8	5.9	4.6	18.7	57.0	1.8	13.0	22.0
精神保健福祉手帳所持者	366	27.3	14.2	1.9	7.4	3.3	19.7	61.2	1.6	12.6	18.9
自立支援医療受給者証所持者	62	38.7	16.1	4.8	14.5	—	19.4	66.1	—	12.9	11.3
難病患者	37	27.0	8.1	—	5.4	—	21.6	64.9	5.4	13.5	10.8

問 39 問 38 の設問で選んだ市内の機関、施設等におけるバリアフリーの状況や障害への配慮の状況等をお答えください。(カッコの中に問 38 の設問で選んだ番号を記入後、該当するものそれぞれ 1 つに○)

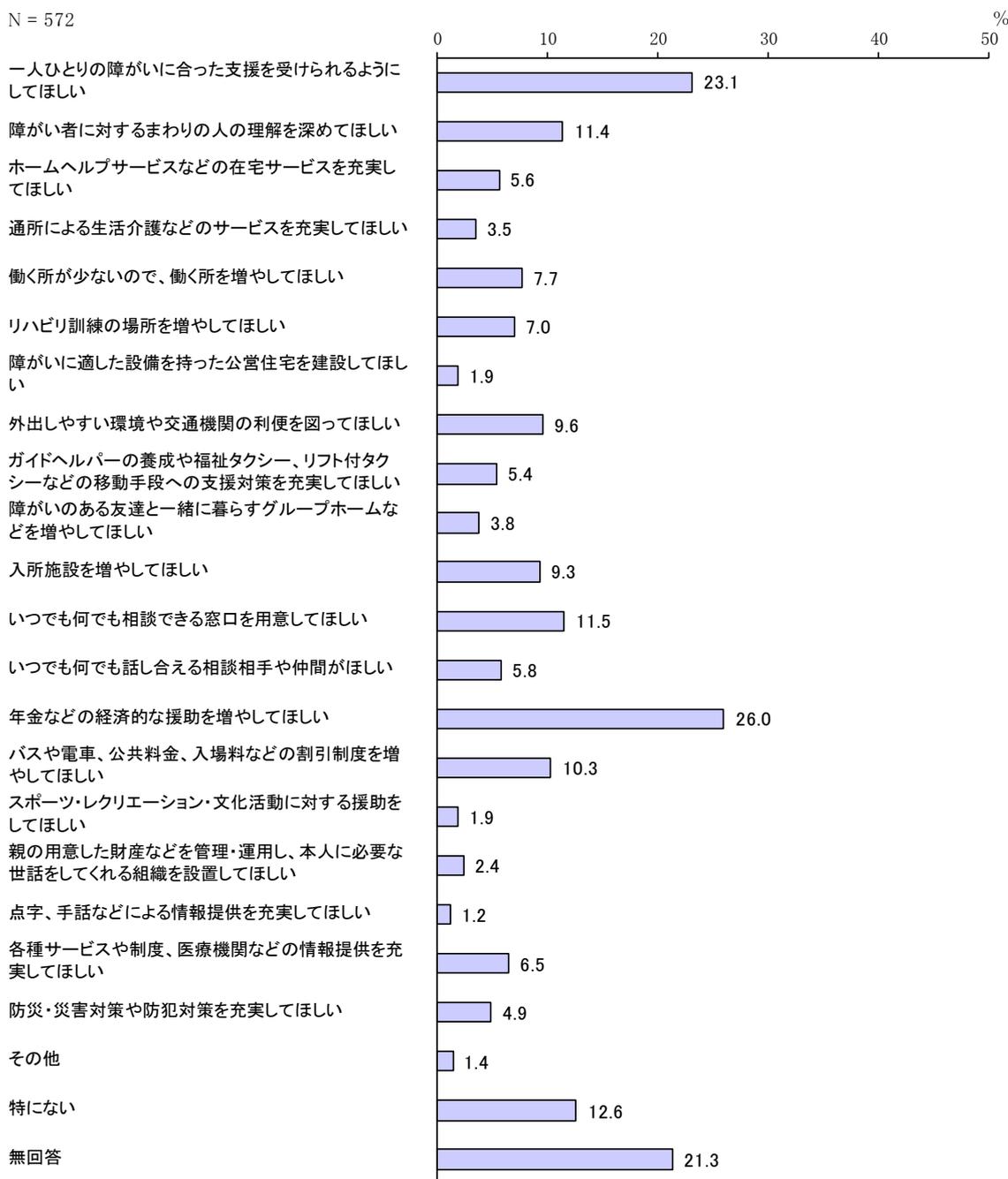
行政庁舎（市役所等）

4. エレベーターが設置されているで「はい」の割合が高く、6割を超えています。



問 40 あなたが、暮らしやすくなるために、特にしてほしいことはどのようなことですか。（3つまで選んで○）

「年金などの経済的な援助を増やしてほしい」の割合が26.0%と最も高く、次いで「一人ひとりの障がい者に合った支援を受けられるようにしてほしい」の割合が23.1%、「特にない」の割合が12.6%となっています。



単位：％

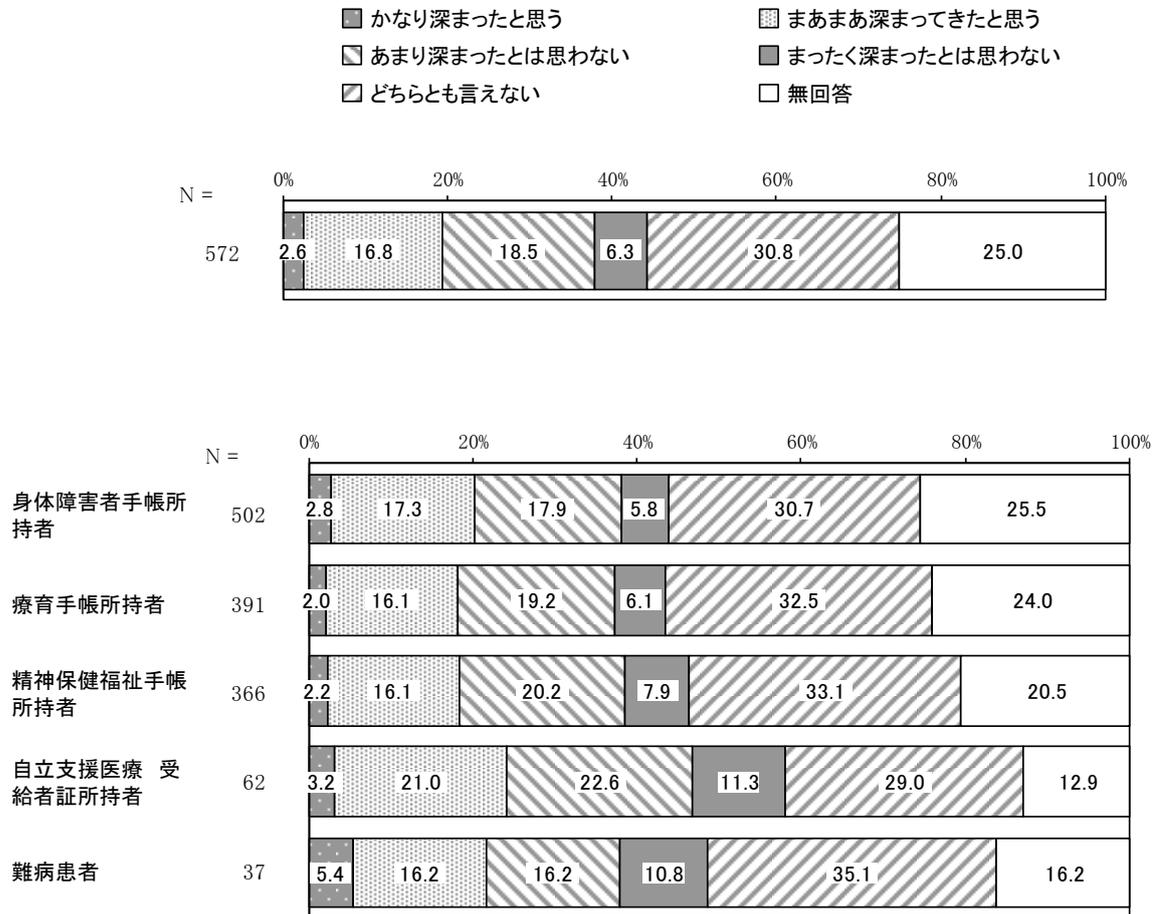
区分	有効回答数(件)	一人ひとりの障がいを持った支援を受けられるようにしてほしい	障がい者に対するまわりの人の理解を深めてほしい	ホームヘルプサービスなどの在宅サービスを充実してほしい	通所による生活介護などのサービスを充実してほしい	働く所が少ないので、働く所を増やしてほしい	リハビリ訓練の場所を増やしてほしい	障がいに適した設備を持った公営住宅を建設してほしい	外出しやすい環境や交通機関の利便を図ってほしい	ガイドヘルパーの養成や福祉タクシー、リフト付タクシーなどの移動手段への支援対策を充実してほしい	障がいのある友達と一緒に暮らすグループホームなどを増やしてほしい	入所施設を増やしてほしい
身体障害者手帳所持者	502	22.3	10.0	6.2	3.4	5.8	7.2	2.2	9.4	6.2	3.0	9.4
療育手帳所持者	391	22.8	11.5	5.6	3.8	7.4	6.1	1.8	8.2	5.4	4.3	11.3
精神保健福祉手帳所持者	366	24.9	12.3	6.3	3.3	9.6	7.1	2.2	8.2	6.0	4.4	10.4
自立支援医療受給者証所持者	62	32.3	17.7	1.6	4.8	24.2	3.2	—	6.5	6.5	9.7	6.5
難病患者	37	37.8	18.9	8.1	5.4	10.8	5.4	5.4	8.1	10.8	2.7	10.8

単位：％

区分	いつでも何でも話し合える相談相手や仲間がほしい	年金などの経済的な援助を増やしてほしい	バスや電車、公共料金、入場料などの割引制度を増やしてほしい	スポーツ・レクリエーション・文化活動に対する援助をしてほしい	親の用意した財産などを管理・運用し、本人に必要な世話をしてくれる組織を設置してほしい	点字、手話などによる情報提供を充実してほしい	各種サービスや制度、医療機関などの情報提供を充実してほしい	防災・災害対策や防犯対策を充実してほしい	その他	特になし	無回答
身体障害者手帳所持者	5.2	26.1	9.2	2.0	2.0	1.4	6.8	5.4	1.4	12.7	21.7
療育手帳所持者	5.6	27.1	9.7	2.3	2.6	1.5	6.9	5.1	1.5	13.0	19.7
精神保健福祉手帳所持者	6.3	29.2	10.7	2.7	2.7	1.6	7.1	4.6	1.4	12.6	15.8
自立支援医療受給者証所持者	3.2	30.6	12.9	—	6.5	3.2	6.5	6.5	—	11.3	16.1
難病患者	—	29.7	10.8	—	—	2.7	5.4	8.1	2.7	8.1	10.8

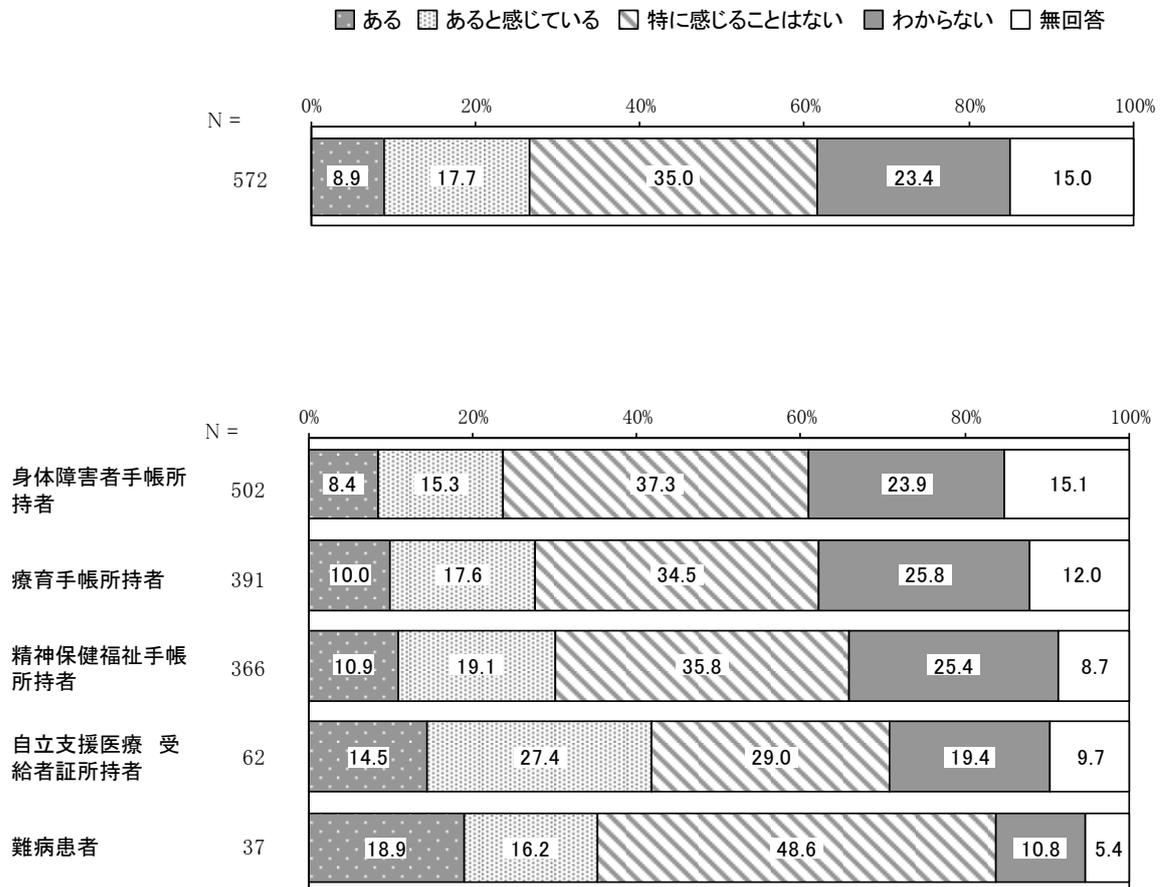
問 41 障がい者に対する市民の理解についてどのように感じていますか。(1つに〇)

「かなり深まったと思う」と「まあまあ深まってきたと思う」を合わせた「深まったと思う」の割合が 19.4%、「あまり深まったとは思わない」と「まったく深まったとは思わない」を合わせた「深まったとは思わない」の割合が 24.8%となっています。



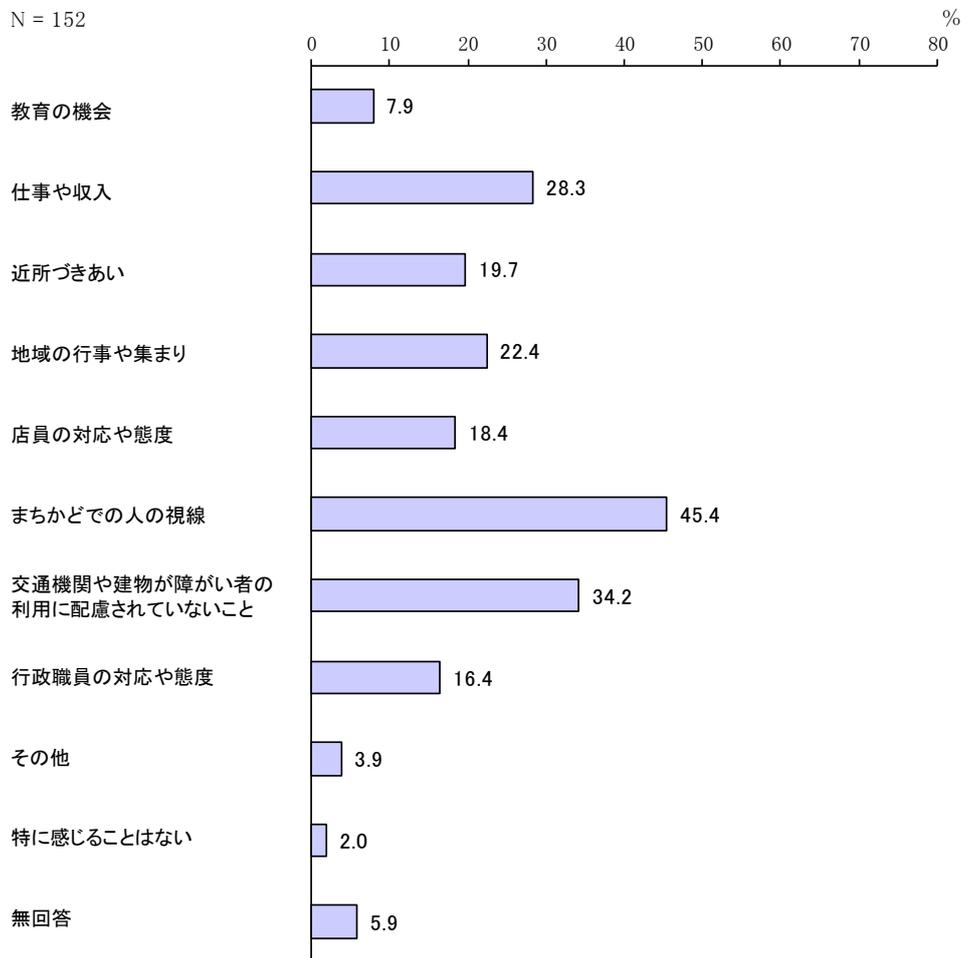
問 42 ふだんの暮らしの中で、障がいのある方への差別や偏見があると感じますか。(1つに○)

「特に感じることはない」の割合が 35.0%と最も高く、次いで「ある」「あると感じている」の割合が 26.6%、[訂正]「わからない」の割合が 23.4%となっています。



問 42-1 問 42 で 1、2 をお選びになった方は、差別や偏見をどのような機会に感じますか。(あてはまるものすべてに○)

「まちかどでの人の視線」の割合が 45.4%と最も高く、次いで「交通機関や建物が障がい者の利用に配慮されていないこと」の割合が 34.2%、「仕事や収入」の割合が 28.3%となっています。



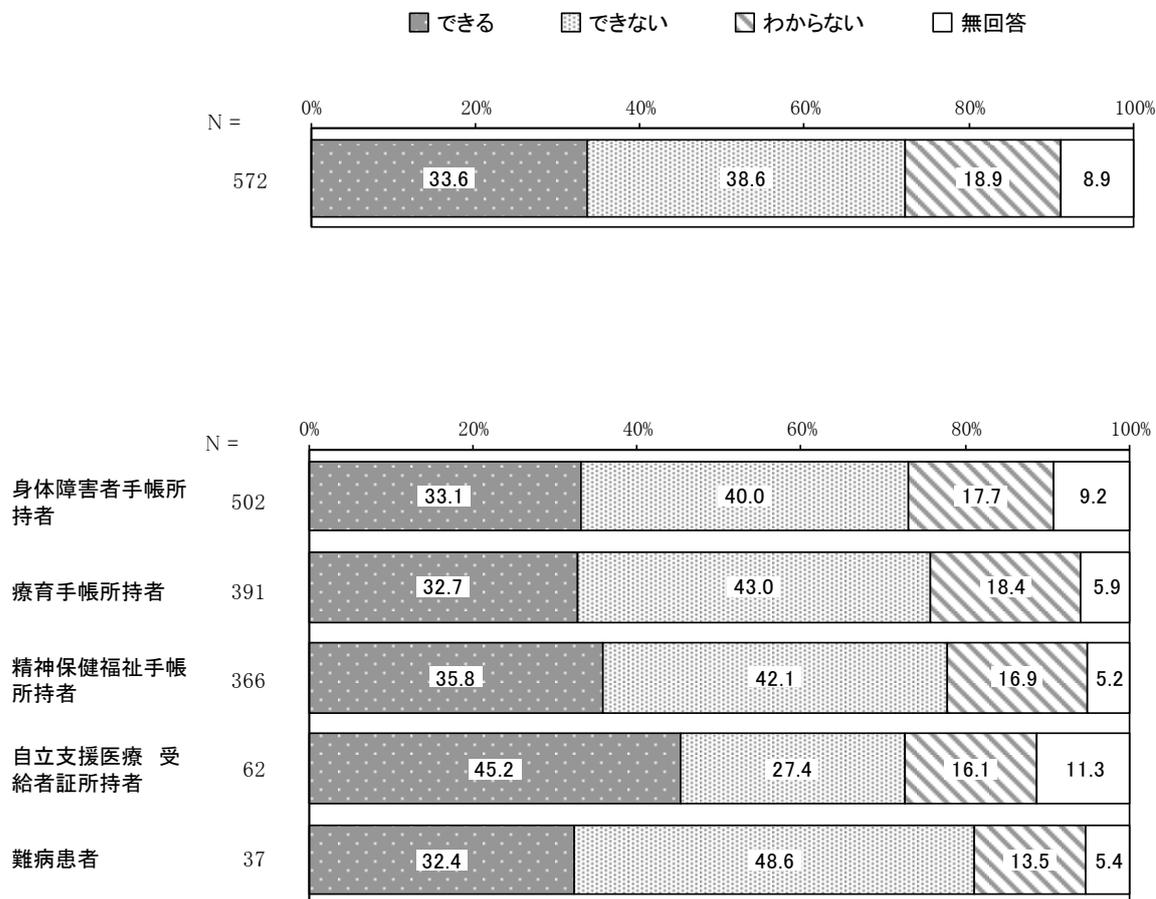
単位：%

区分	有効回答数 (件)	教育の機会	仕事や収入	近所づきあい	地域の行事や集まり	店員の対応や態度	まちかどでの人の視線	交通機関や建物が障がい者の利用に配慮されていないこと	行政職員の対応や態度	その他	特に感じることはない	無回答
身体障害者手帳所持者	119	6.7	24.4	18.5	20.2	15.1	42.0	40.3	15.1	4.2	2.5	6.7
療育手帳所持者	108	9.3	25.9	16.7	22.2	16.7	50.0	38.0	16.7	4.6	2.8	3.7
精神保健福祉手帳所持者	110	7.3	30.0	19.1	21.8	16.4	44.5	37.3	16.4	5.5	2.7	2.7
自立支援医療受給者証所持者	26	11.5	61.5	30.8	30.8	15.4	30.8	19.2	23.1	7.7	3.8	—
難病患者	13	—	15.4	23.1	15.4	15.4	61.5	53.8	—	—	7.7	—

(8) 防災対策について

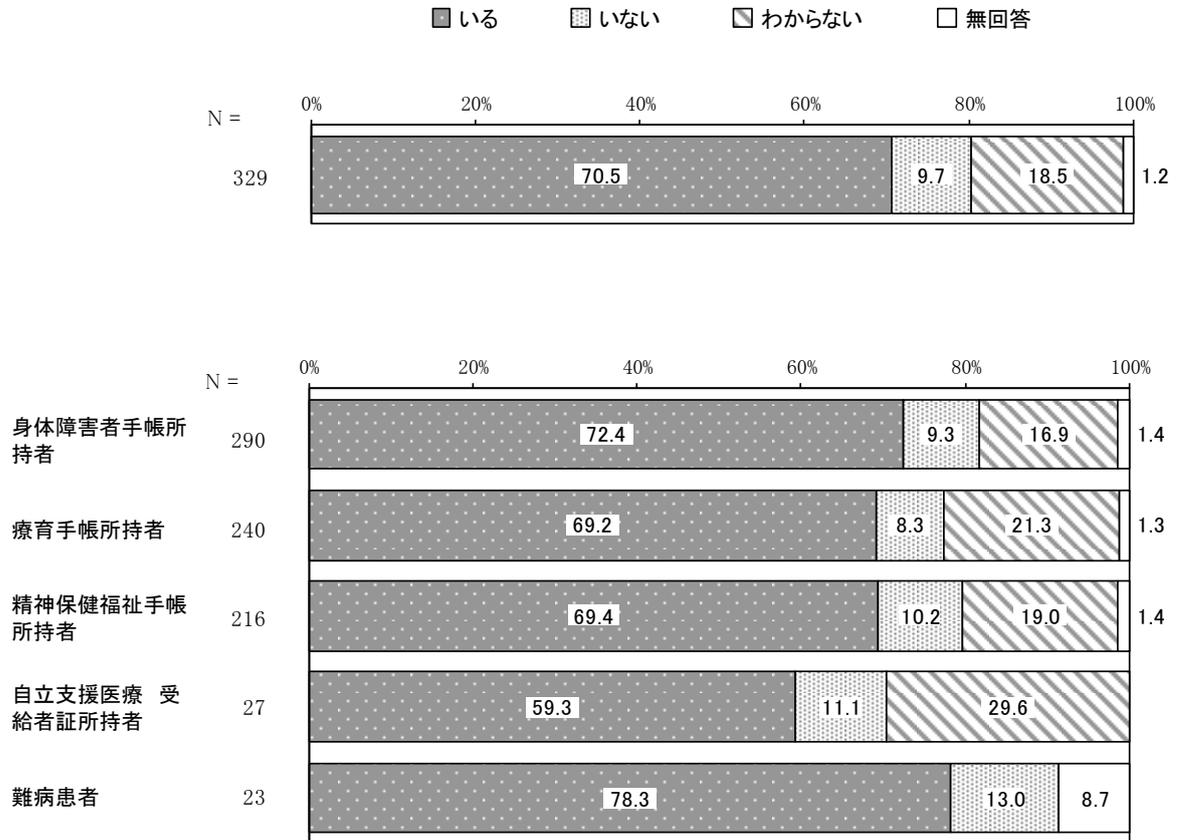
問 43 あなたは、地震などの発生時に、自力で避難することはできますか。(1つに○)

「できない」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「できる」の割合が 33.6%、「わからない」の割合が 18.9%となっています。



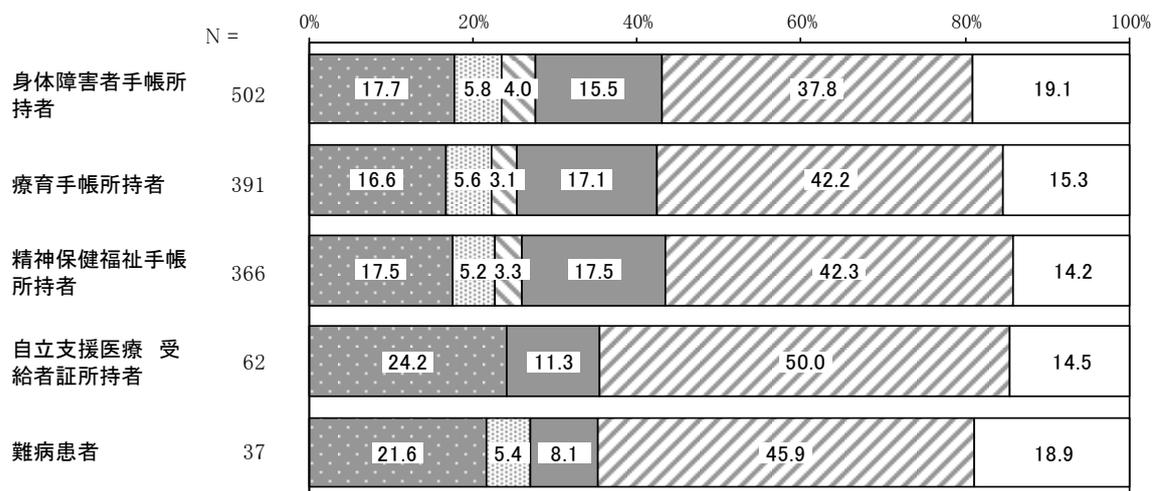
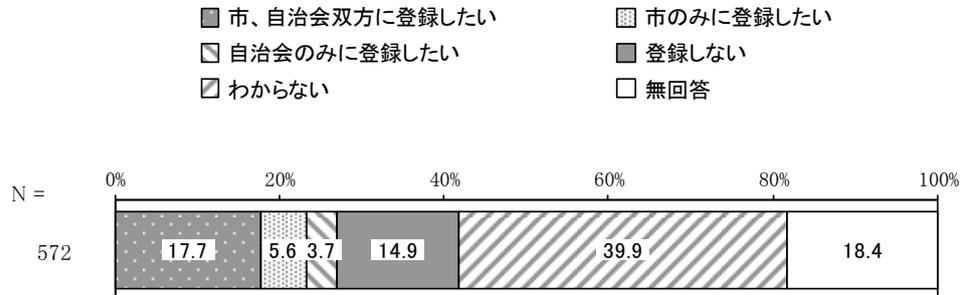
問 43-1 問 43 で 2、3 をお選びになった方は、地震など災害発生時に支援してもらえる人がいますか。(1つに○)

「いる」の割合が 70.5% と最も高く、次いで「わからない」の割合が 18.5% となっています。



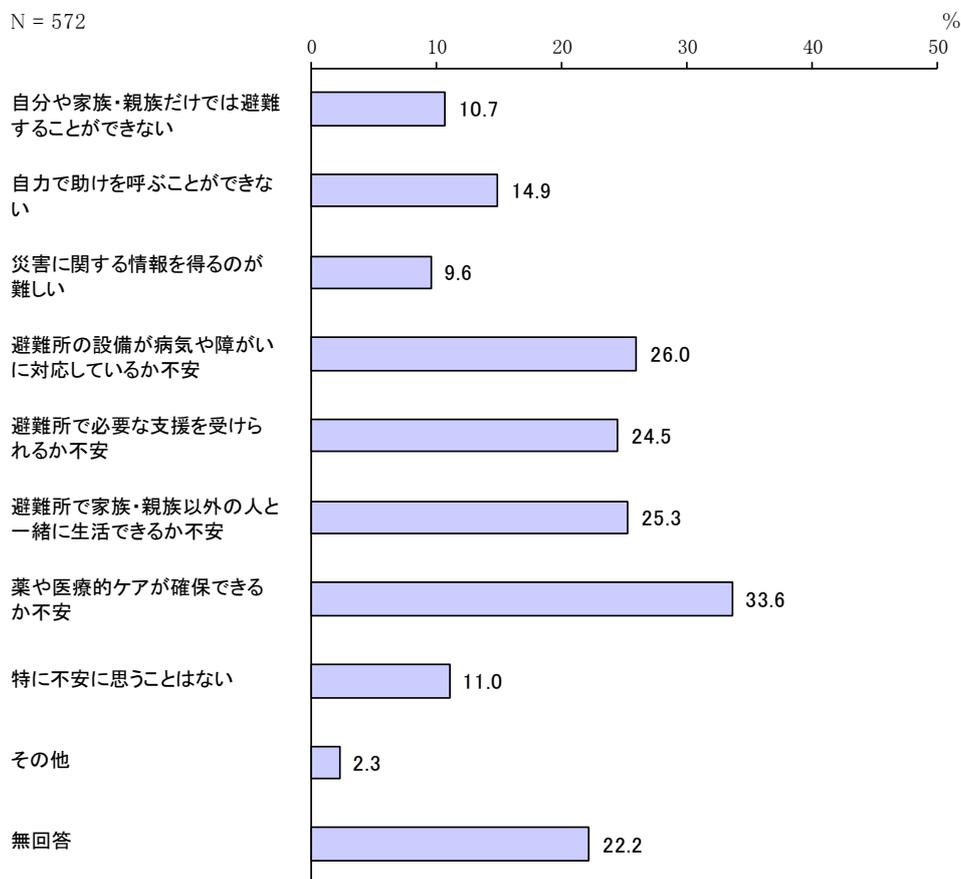
問 44 地震などの災害発生時に備えて、市、自治会で管理する災害時避難行動要支援者名簿に登録を希望しますか。(1つに〇)

「わからない」の割合が39.9%と最も高く、次いで「市、自治会双方に登録したい」の割合が17.7%、「登録しない」の割合が14.9%となっています。



問 45 あなたは災害発生時に不安に思うことはありますか。(3つまで選んで○)

「薬や医療的ケアが確保できるか不安」の割合が 33.6%と最も高く、次いで「避難所の設備が病気や障がいに対応しているか不安」の割合が 26.0%、「避難所で家族・親族以外の人と一緒に生活できるか不安」の割合が 25.3%となっています。



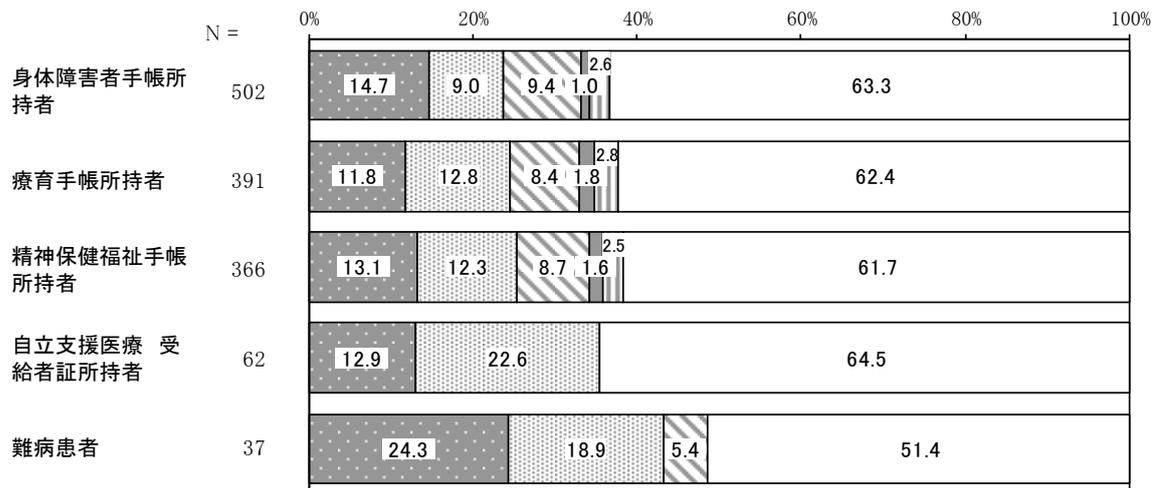
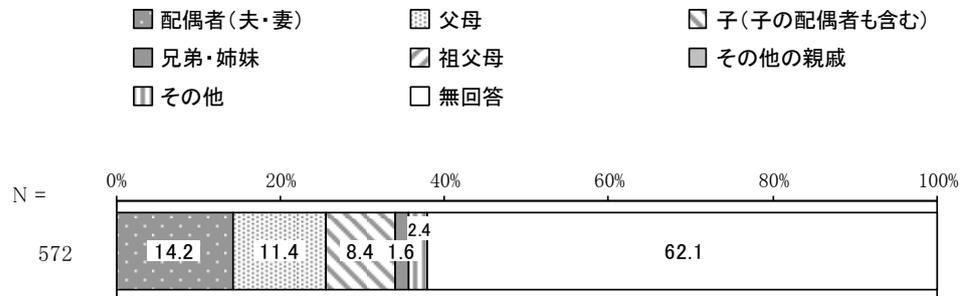
単位：%

区分	有効回答数(件)	自分や家族・親族だけでは避難することができない	自力で助けを呼ぶことができない	災害に関する情報を得るのが難しい	避難所の設備が病気や障がいに対応しているか不安	避難所で必要な支援を受けられるか不安	避難所で家族・親族以外の人と一緒に生活できるか不安	薬や医療的ケアが確保できるか不安	特に不安に思うことはない	その他	無回答
身体障害者手帳所持者	502	10.4	14.1	8.8	25.5	24.9	23.5	33.7	11.2	2.2	23.1
療育手帳所持者	391	11.0	17.6	10.7	22.8	23.8	25.3	29.4	11.0	2.3	23.0
精神保健福祉手帳所持者	366	10.1	16.4	9.6	24.3	24.3	24.0	34.4	11.7	2.2	21.0
自立支援医療受給者証所持者	62	11.3	16.1	12.9	22.6	17.7	29.0	41.9	8.1	1.6	19.4
難病患者	37	10.8	16.2	2.7	37.8	16.2	24.3	56.8	16.2	5.4	13.5

(9) 介護・介助をしている方

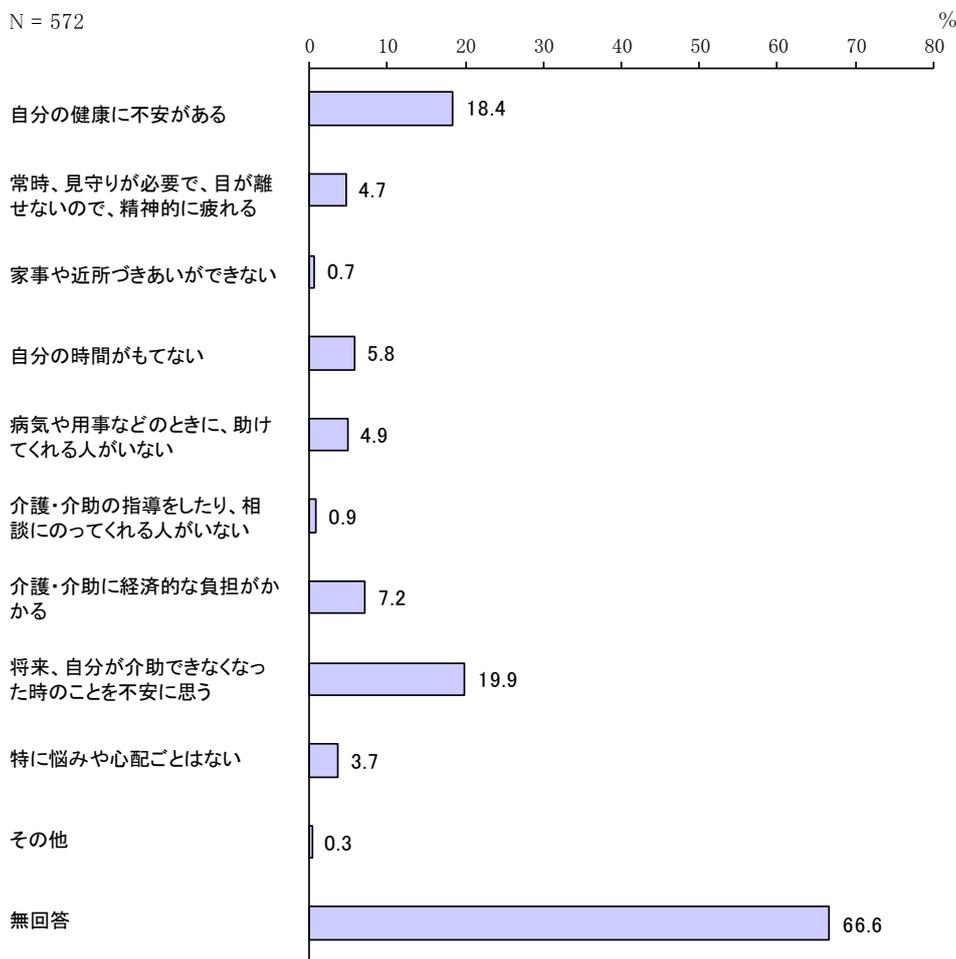
問 47 主に介護・介助をしている方はどなたですか。(1つに○)

「配偶者(夫・妻)」の割合が14.2%と最も高く、次いで「父母」の割合が11.4%となっています。



問 51 介護・介助をしている方は、何か悩みや心配ごとがありますか。(3つまで選んで○)

「将来、自分が介助できなくなった時のことを不安に思う」の割合が19.9%と最も高く、次いで「自分の健康に不安がある」の割合が18.4%となっています。

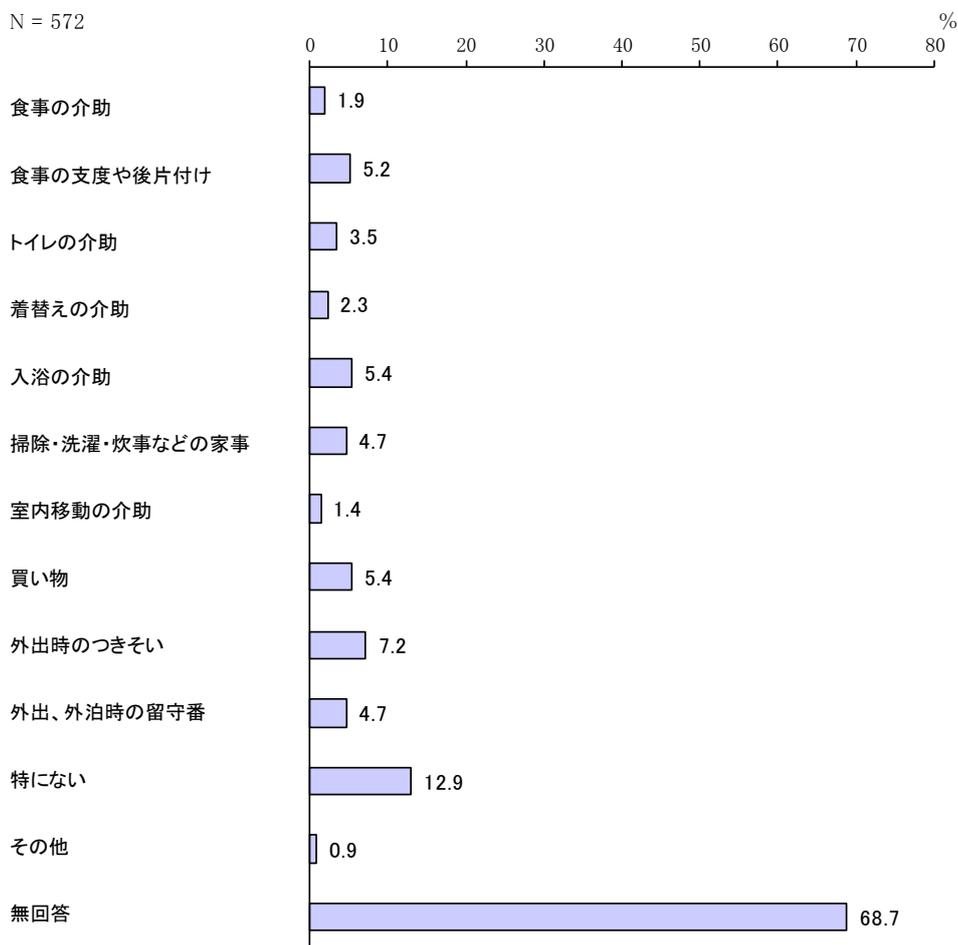


単位：%

区分	有効回答数(件)	自分の健康に不安がある	常時、見守りが必要で、目が離せないで、精神的に疲れる	家事や近所づきあいができない	自分の時間がもてない	病気や用事などのときに、助けてくれる人がいない	介護・介助の指導をしたり、相談にのってくれる人がいない	介護・介助に経済的な負担がかかる	将来、自分が介助できなくなった時のことを不安に思う	特に悩みや心配ごとはない	その他	無回答
身体障害者手帳所持者	502	19.1	4.2	0.8	6.0	5.4	0.6	7.6	18.1	3.6	0.4	67.1
療育手帳所持者	391	18.2	5.1	0.5	6.6	5.1	0.3	7.4	19.2	3.6	0.5	65.7
精神保健福祉手帳所持者	366	18.6	4.1	0.3	6.8	5.2	0.5	8.5	20.5	3.6	0.5	65.0
自立支援医療受給者証所持者	62	21.0	6.5	—	3.2	6.5	1.6	8.1	22.6	4.8	—	66.1
難病患者	37	37.8	8.1	—	13.5	5.4	2.7	16.2	35.1	2.7	—	48.6

問 52 日常の介護・介助の中で、他の人に代わってもらえると助かることがありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

「特にない」の割合が 12.9%と最も高くなっています。



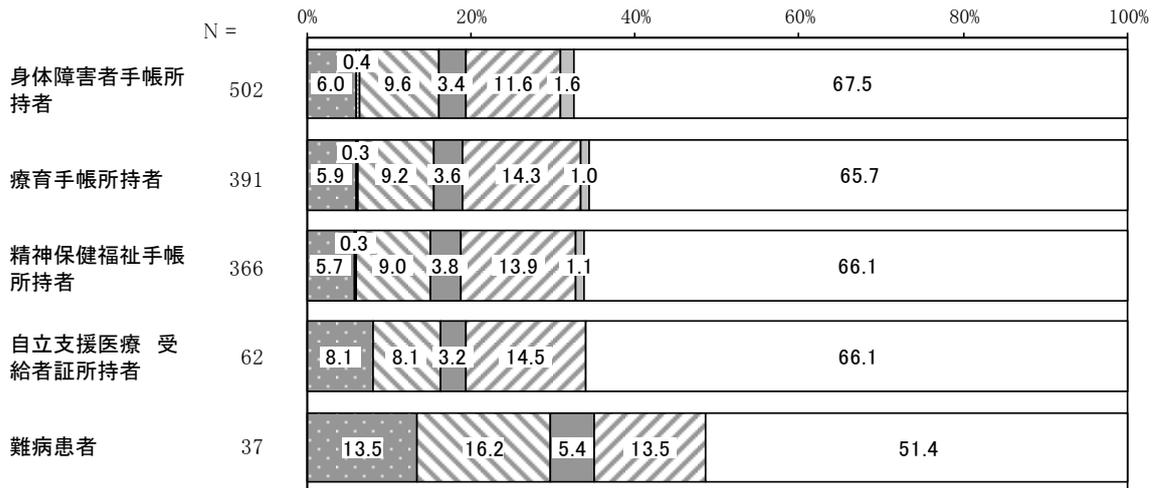
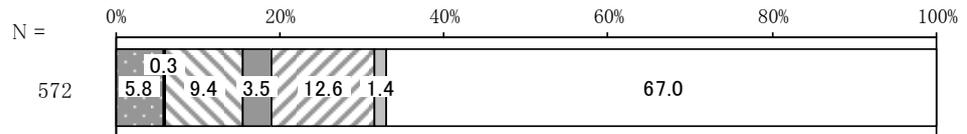
単位：%

区分	有効回答数 (件)	食事の介助	食事の支度や後片付け	トイレの介助	着替えの介助	入浴の介助	掃除・洗濯・炊事などの家事	室内移動の介助	買い物	外出時のつきそい	外出、外泊時の留守番	特にない	その他	無回答
身体障害者手帳所持者	502	2.2	5.8	4.0	2.6	5.8	5.0	1.6	5.0	7.0	5.0	12.4	0.8	68.7
療育手帳所持者	391	1.8	5.9	3.8	2.0	5.9	4.1	1.3	4.9	6.9	5.1	14.1	1.3	67.0
精神保健福祉手帳所持者	366	1.4	5.5	3.8	2.2	5.5	4.4	0.8	5.5	7.1	4.6	15.0	0.8	66.7
自立支援医療受給者証所持者	62	1.6	11.3	4.8	1.6	3.2	8.1	—	8.1	8.1	4.8	12.9	—	71.0
難病患者	37	5.4	8.1	8.1	2.7	13.5	5.4	5.4	5.4	5.4	10.8	18.9	2.7	51.4

問 53 介護・介助者が緊急の用事ができたときや、介護・介助に疲れたときに、ショートステイ（施設への短期入所）を利用したいですか。（1つに○）

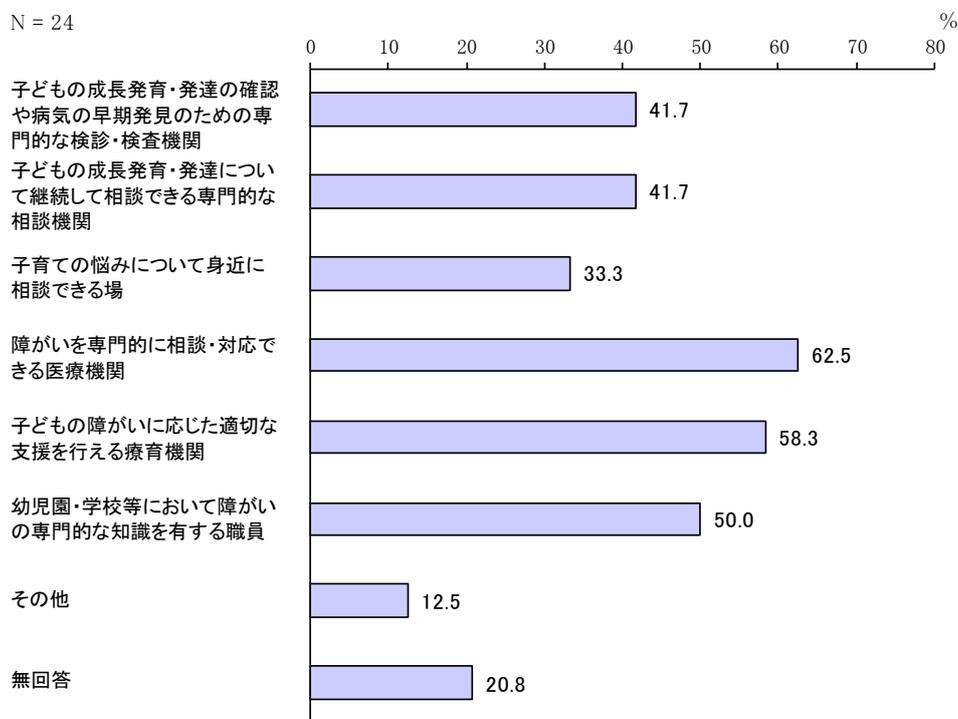
「わからない」の割合が12.6%と最も高くなっています。

- ショートステイを利用したことがあり、今後も利用したい
- ▨ ショートステイを利用したことがあるが、今後は利用したくない
- ▩ 利用したことがないが、今後は、ショートステイを利用したい
- 利用したことがなく、今後も利用したくない
- わからない
- その他
- 無回答



問 55 子どもの療育支援への対応として、特に必要と思う社会資源をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「障がいを専門的に相談・対応できる医療機関」の割合が62.5%と最も高く、次いで「子どもの障がいに応じた適切な支援を行える療育機関」の割合が58.3%、「幼稚園・学校等において障がいの専門的な知識を有する職員」の割合が50.0%となっています。

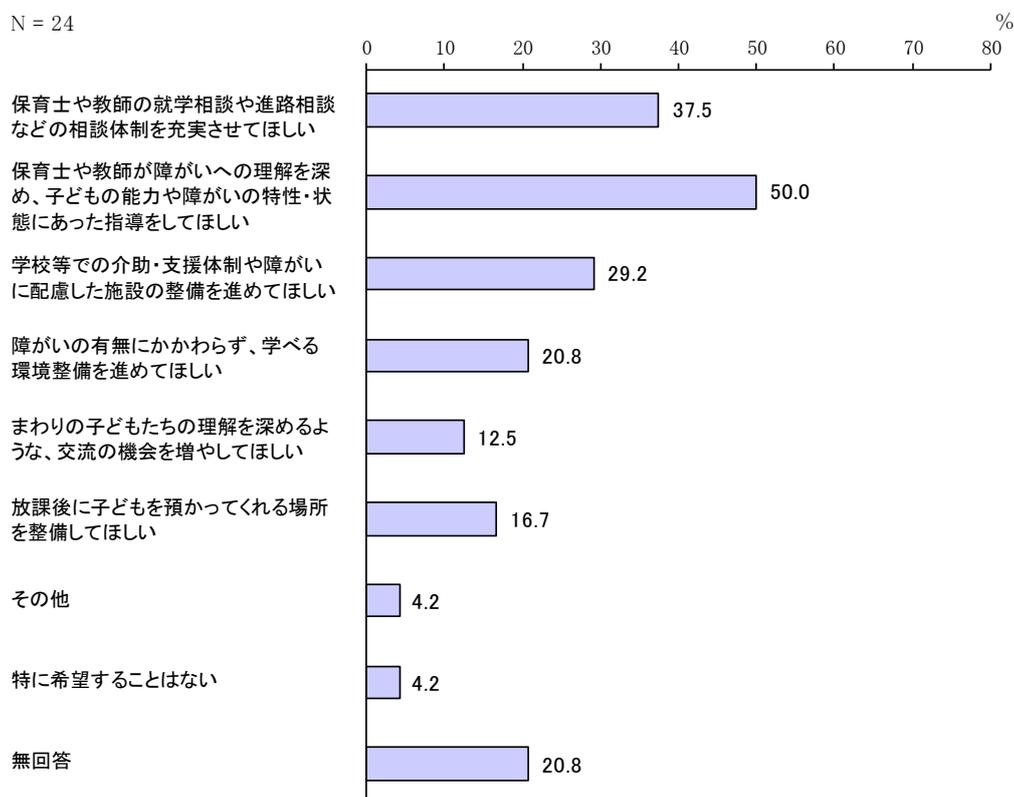


単位：%

区分	有効回答数 (件)	子どもの成長発育・発達の確認や病気の早期発見のための専門的な検診・検査機関	子どもの成長発育・発達について継続して相談できる専門的な相談機関	子育ての悩みについて身近に相談できる場	障がいを専門的に相談・対応できる医療機関	子どもの障がいに応じた適切な支援を行える療育機関	幼稚園・学校等において障がいの専門的な知識を有する職員	その他	無回答
身体障害者手帳所持者	18	38.9	38.9	27.8	61.1	55.6	44.4	16.7	16.7
療育手帳所持者	23	43.5	43.5	34.8	65.2	60.9	52.2	13.0	17.4
精神保健福祉手帳所持者	18	38.9	38.9	22.2	61.1	50.0	38.9	16.7	22.2
自立支援医療 受給者証所持者	—	—	—	—	—	—	—	—	—
難病患者	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問 56 学校等での生活についてはどのようなことを望んでいますか。(3つまで選んで○)

「保育士や教師が障がいへの理解を深め、子どもの能力や障がいの特性・状態にあった指導をしてほしい」の割合が50.0%と最も高く、次いで「保育士や教師の就学相談や進路相談などの相談体制を充実させてほしい」の割合が37.5%、「学校等での介助・支援体制や障がいに配慮した施設の整備を進めてほしい」の割合が29.2%となっています。

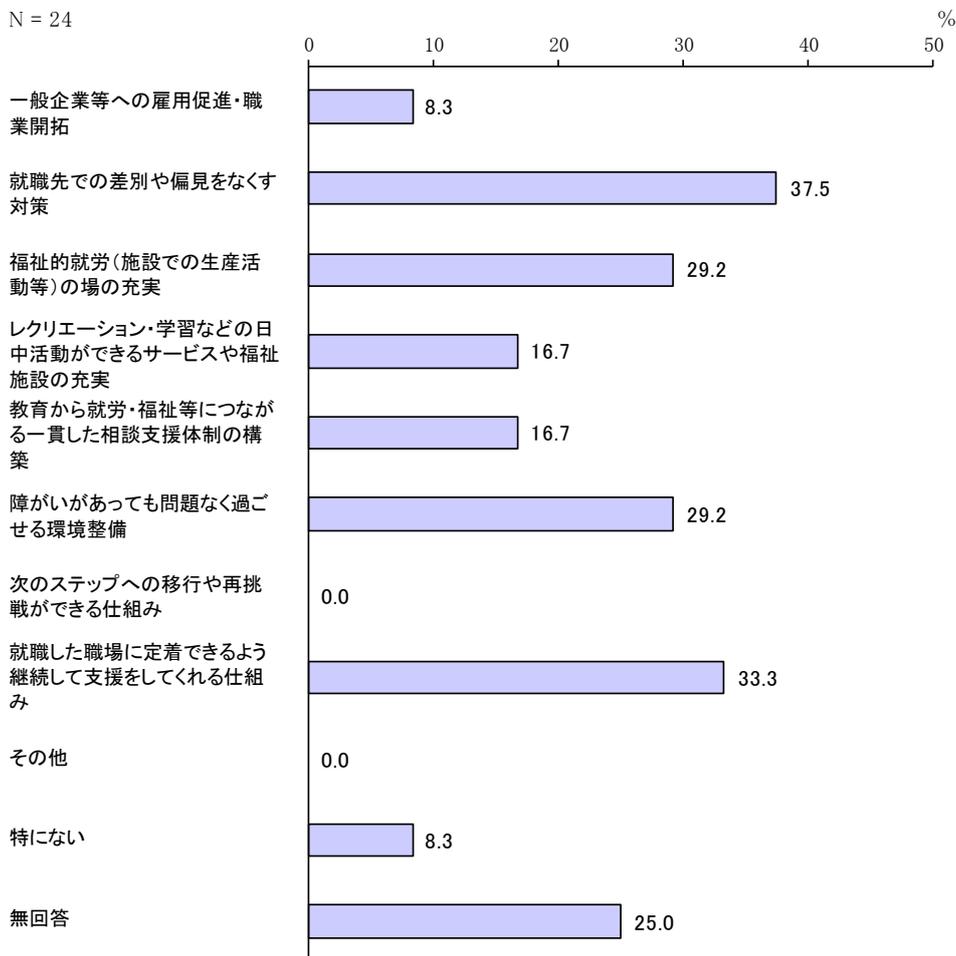


単位：%

区分	有効回答数(件)	保育士や教師の就学相談や進路相談などの相談体制を充実させてほしい	保育士や教師が障がいへの理解を深め、子どもの能力や障がいの特性・状態にあった指導をしてほしい	学校等での介助・支援体制や障がいに配慮した施設の整備を進めてほしい	障がいの有無にかかわらず、学べる環境整備を進めてほしい	まわりの子どもたちの理解を深めるような、交流の機会を増やしてほしい	放課後に子どもを預かってくれる場所を整備してほしい	その他	特に希望することはない	無回答
身体障害者手帳所持者	18	38.9	44.4	27.8	27.8	11.1	16.7	5.6	5.6	16.7
療育手帳所持者	23	39.1	52.2	30.4	21.7	13.0	17.4	4.3	4.3	17.4
精神保健福祉手帳所持者	18	33.3	44.4	27.8	27.8	11.1	16.7	5.6	5.6	22.2
自立支援医療 受給者証所持者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
難病患者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問 57 学校教育終了後の進路について、どのような対策が必要だと思いますか。(主なもの3つまで○)

「就職先での差別や偏見をなくす対策」の割合が37.5%と最も高く、次いで「就職した職場に定着できるよう継続して支援をしてくれる仕組み」の割合が33.3%、「福祉的就労（施設での生産活動等）の場の充実」、「障がいがあっても問題なく過ごせる環境整備」の割合が29.2%となっています。



単位：%

区分	有効回答数（件）	一般企業等への雇用促進・職業開拓	就職先での差別や偏見をなくす対策	福祉的就労（施設での生産活動等）の場の充実	レクリエーション・学習などの日中活動ができるサービスや福祉施設の充実	教育から就労・福祉等につながる一貫した相談支援体制の構築	障がいがあっても問題なく過ごせる環境整備	次のステップへの移行や再挑戦ができる仕組み	就職した職場に定着できるよう継続して支援をしてくれる仕組み	その他	特にない	無回答
身体障害者手帳所持者	18	5.6	44.4	27.8	16.7	22.2	27.8	—	38.9	—	11.1	16.7
療育手帳所持者	23	8.7	39.1	30.4	17.4	17.4	30.4	—	34.8	—	8.7	21.7
精神保健福祉手帳所持者	18	5.6	38.9	27.8	16.7	22.2	22.2	—	33.3	—	11.1	22.2
自立支援医療受給者証所持者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
難病患者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—